

KÄRCHER

ケルヒャー業務用床洗浄機

B150 R 取扱説明書



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

B150R 202104

目次

1. 使用について	3
2. 使用上のご注意	4～9
3. 製品仕様	10
4. 各部名称	11～16
5. 充電	17～21
6. パレットからの降ろし方	22
7. ブラシの着脱	23～24
8. サイドスカート調整	25
9. スクイジーの取付け	26
10. スクイジーの高さ調整	27
11. シートの調整	28
12. 給水	29
13. 洗浄剤	30
14. 走行	31
15. 操作方法	32
16. 作業モード毎の表示	33～36
17. 設定方法	37
18. 標準設定	38～43
19. イエロー KIK キー	44～45
20. メンテナンスカウンター	46～49
21. 制御ユニットバージョン表示	50
22. グレー KIK キー	51～61
23. 作業が終わったら	62～65
24. メンテナンス	66～71
25. トラブル対応	72～74
26. お問い合わせ先	75
27. ユーザー登録・保証	76
28. 修理	77
29. 補修部品	78～79

1. 使用について

この床洗浄機は平坦な床面の洗浄作業あるいは磨き作業を目的としています。水量、ブラシ / パッドの接触圧力、洗浄剤の濃度及び走行速度を調節することにより作業目的に適した作動条件を設定することが出来ます。

この床洗浄機はこの取扱説明書に記載された方法でご使用ください。

- ①本機は水分とブラシ磨き作業に耐える硬い床面にのみ使用してください。
- ②屋外で使用しないこと。
屋内で使用する清掃機材です。
- ③使用環境は +5℃～+40℃の範囲で使用する事。
- ④冷蔵・冷凍庫の清掃には使用しないこと。
制御系を損傷する場合があります。
- ⑤ 1 cm以上の水たまりは走行しないこと。
水位がこれを超える恐れのある場所では使用しないでください。
走行モーターが損傷します。
- ⑥ケルヒャー純正部品以外の機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。
- ⑦車両道路（公共）の清掃には使用しないこと。
- ⑧ソフトクッション系の床素材には使用しないこと。
床材を損傷します。
- ⑨危険物を使用しないこと。
灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料、シンナーなどの油性の液体、溶剤、
気体を使用、注入、吸引しないでください。火災になるおそれがあります。
- ⑩可燃性ガス、中和していない酸あるいは溶剤の吸引に使用しないでください。

2. 使用上のご注意

本機を最初に使用する前に取扱説明書を読んで確認してください。
本機は全てのカバーや蓋が締まっている状態でのみ使用してください。
本機は規定を超えない最大傾斜の平坦な床面でのみ使用してください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、『死亡または重症を負う可能性が想定される内容』を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、『障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容』を示しています。



この記号は『してはいけないこと（禁止）』を示しています。



この記号は『必ず実行してほしいこと』を示しています。



注意

洗浄は自己責任においておこなうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずによけどやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。



ご使用時の警告



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

子供には触らせないこと
けがをする場合があります。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない
部品を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもと
になることがあります。

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

危険物を水の代わりに注入しないこと

灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの油性の液
体を水の代わりに注入しないでください。

火災になるおそれがあります。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスク等
適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。



ご使用時の注意点



テスト洗浄をおこなうこと
床の素材に適したセッティングで洗浄してください。

担当者以外作業をしないこと
誤動作によりけがや事故の発生する場合があります。

設定を変更する場合は安全な場所で行うこと
平坦な周りに人がいない場所で行ってください。

10%以上の勾配で使用しないこと
転倒する場合があります。

作業中に疲労感が生じた場合は作業を中止すること
体調を崩す場合があります。

純正洗浄剤を使用すること
十分な洗浄能力を発揮しない場合があります。

発泡洗浄剤は使用しないこと
汚水を回収できなくなります。

パット、ブラシの磨耗を確認すること
床を傷つける場合があります。

保管する場合は鍵を抜くこと
安全確保のため必ず鍵を抜いてください。



バッテリーに関する警告



バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと
内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合、損傷、火傷、失明の原因になります。

バッテリーを倒した状態で使用しないこと
引火爆発の原因となります。

危険物のある場所で充電しないこと
引火爆発する場合があります。

軽作業時の充電はインジケータランプが黄色
になってからおこなうこと
インジケータランプが黄色になる前に充電作業を実施した
場合、バッテリーが過充電となりバッテリーの寿命を著
しく低下させます。

充電は換気の良い場所でおこなうこと
屋内で充電する場合は換気設備の整った場所でおこなっ
てください。充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆
発を生じる恐れがあります。

保水を行う場合はゴーグルを着用すること
安全を確保するため必ず行ってください。

バッテリーに関する注意



バッテリーを短絡させないこと。
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリー・充電器に水をかけないこと。
引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと。
バッテリー内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合
損傷・火傷・失明の原因になります。

バッテリー接続ケーブルに緩みが無いか確認すること。
ショートする場合があります。

バッテリー接続ケーブルに損傷が無いか確認すること。
過熱・発火が生じる場合があります。

充電中は本体をカバーなどで覆わないこと。
過熱・発火が生じる場合があります。

充電中は接続プラグを抜かないこと。
バッテリーの寿命を縮める場合があります。

危険物のある場所で充電しないこと。
引火爆発する場合があります。

接続ケーブルは確実に取り付けること。
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

保水を行う場合はゴーグルを着用すること。
安全を確保するため必ず行ってください。

保水を行う場合は蒸留水を使用すること。
蒸留水以外を投入した場合バッテリーが損傷します。



バッテリーに関する注意



充電はインジケータの表示が1～3になったら行なうこと。インジケータの表示が多いときに充電作業を実施した場合バッテリーが過充電となりバッテリー寿命を著しく低下させます。

充電は換気の良い場所で行うこと。
屋内で充電する場合は換気設備の整った湿度の低い場所で行なってください。
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

5～40度の気温で充電すること。
充電は涼しい場所で行なってください。

充電中は火気厳禁。
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

作業終了後は毎日充電すること。
完全放電状態で充電を行うとバッテリーの負担が増加し充電回数が低下します。
75%放電時の充電時間は外気温度30℃の場合約10～12時間かかります。
充電は途中で止めないでください。

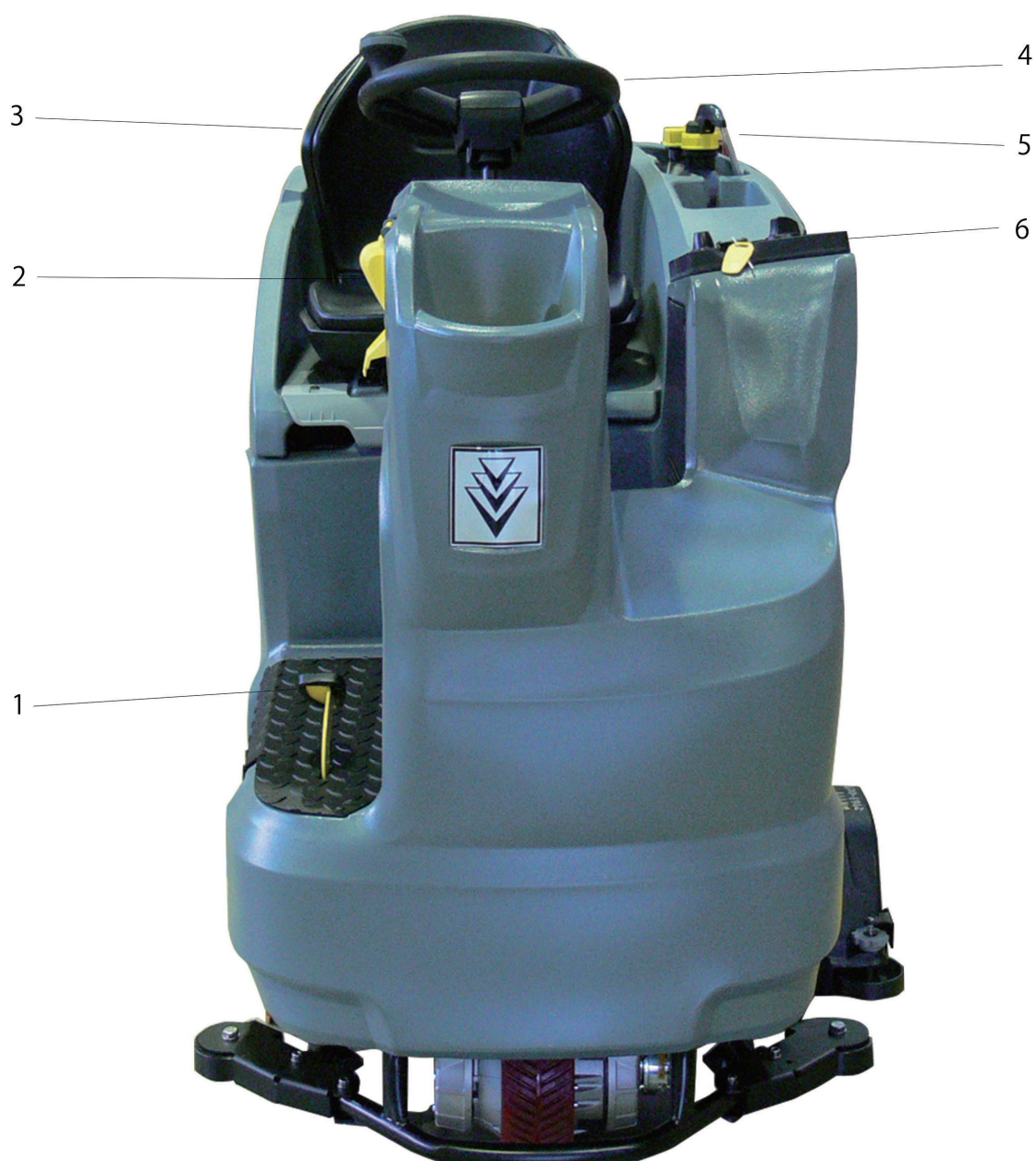
1ヶ月以上使用しない場合毎月1度必ず充電を行なうこと。
約3ヶ月で完全放電し寿命が著しく低下します。

専用充電器を使用すること。
専用充電器以外で充電した場合バッテリーが損傷します。

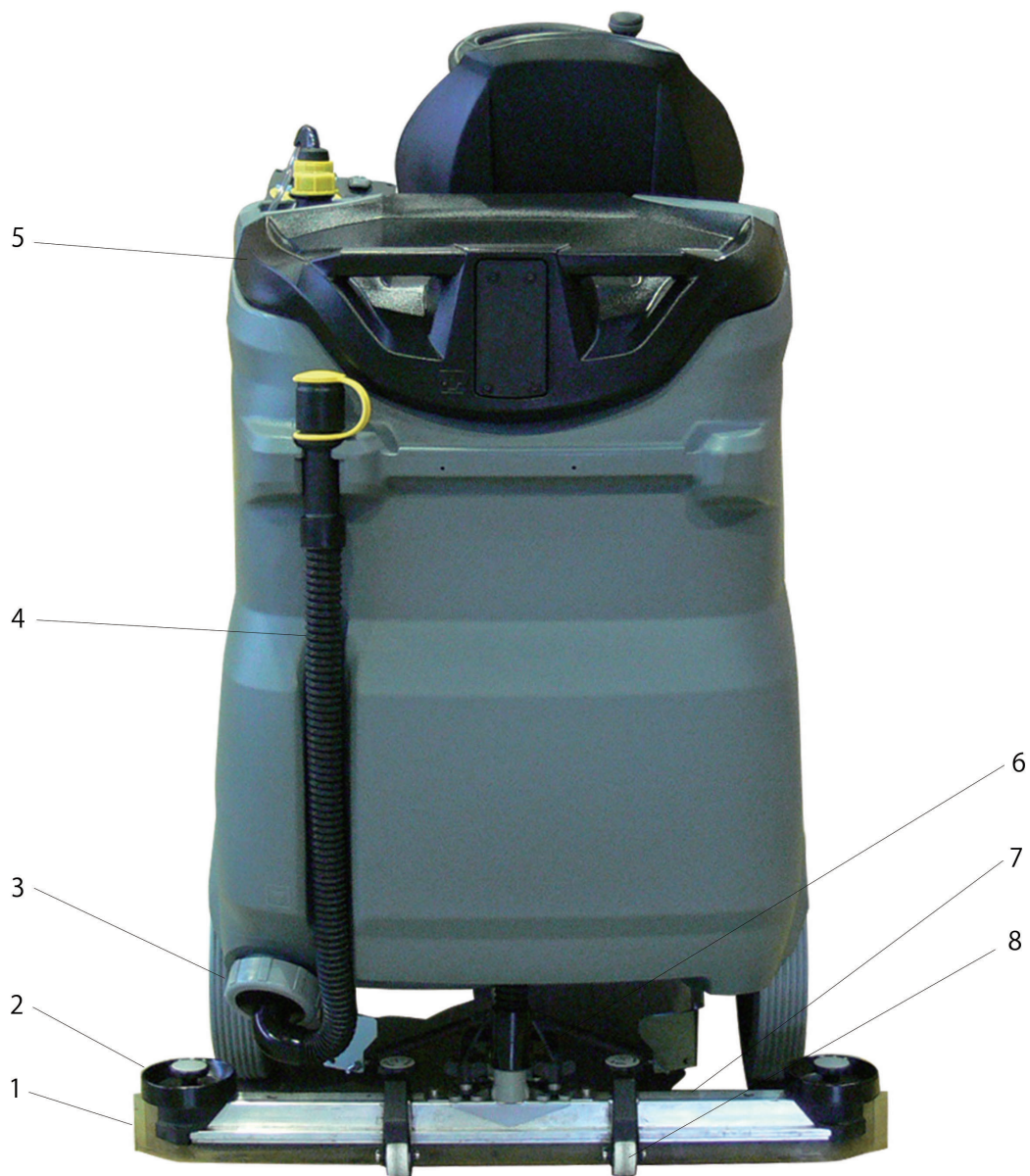
3. 製品仕様

B150	単位	R 75	D 75	R 90	D90
● パワー					
電源	V	36			
バッテリー	Ah(5h)	240 (2V×18)		6.654-298.0	
充電回数(サイクル数)	回	1000~1100 (放電状態により異なる)			
充電時間	時間	12時間 (100V仕様) / 10時間 (200V仕様)			
バッテリー格納スペース	mm	L 1770 × W 810 × 高 1390			
総消費電力	W	2100	2400	2800	2900
Adv 走行モーター	W	1200	1200	1200	1200
サクシオンタービン	W	750	750	750	750
ブラシモーター	W	2 x 600		2 x 750	2 x 600
● タンク容量					
DOSEポンプ	ml/分	5~220			
清水	L	150			
吐出水量	L/分	0.4~9.5			
汚水	L	150			
● 吸引					
吸引風量	l/s	26			
吸引圧	kPa	18.0			
吸引幅	mm	750	900	750	900
● ブラシヘッド					
清掃幅	mm	750		900	
ブラシ直径	mm	105	410	105	450
ブラシ回転数	1/min	600~1200	140	600~1200	140
ブラシ面圧	g/cm ²	560	34	505	46
ダストコンテナ	l	7		9	
●					
走行スピード(max)	km/h	Max 6			
Adv 走行スピード(max)	km/h	Max 10			
清掃スピード(max)	km/h	Max 6			
Adv清掃行スピード(max)	km/h	Max 10			
登坂能力	%	8			
Adv 登坂能力	%	10			
清掃能力	m ² /h	4500		5400	
Adv 清掃能力	m ² /h	7500		10000	
吸引幅	mm	960		1080	
全長	mm	1690			
幅	mm	810	810	910	980
高さ	mm	1390			
重量	kg	850			
Adv 重量	kg	870			
重量 (バッテリー含む) 100V	kg	513	513	520	520
重量 (バッテリー含む) 200V	kg	550	550	557	557
重量 (バッテリー除く)	kg	246	251	253	260
● 路面荷重					
前輪荷重	N/cm ²	94			
後輪荷重	N/cm ²	51			
● 使用環境					
温度	°C	5 ~ 40			
湿度	%	95			
異物混入保護等級	IP	X3			
● 振動・騒音 EN 60335-2-72					
音圧レベル L _{pA}	dB(A)	67			
音響パワーレベル L _{WA} + K _{WA}	dB(A)	85			

4. 各部名称



- 1 アクセルペダル
- 2 給水口
- 3 シート
- 4 ハンドル
- 5 DOSEシステム
- 6 操作パネル



- 1 スクイジーゴム
- 2 ガイドローラー
- 3 排水口（汚水）
- 4 排水ホース（汚水）
- 5 汚水タンクカバー
- 6 スクイジー昇降ユニット
- 7 スクイジー
- 8 ガイドローラー（高さ調整）

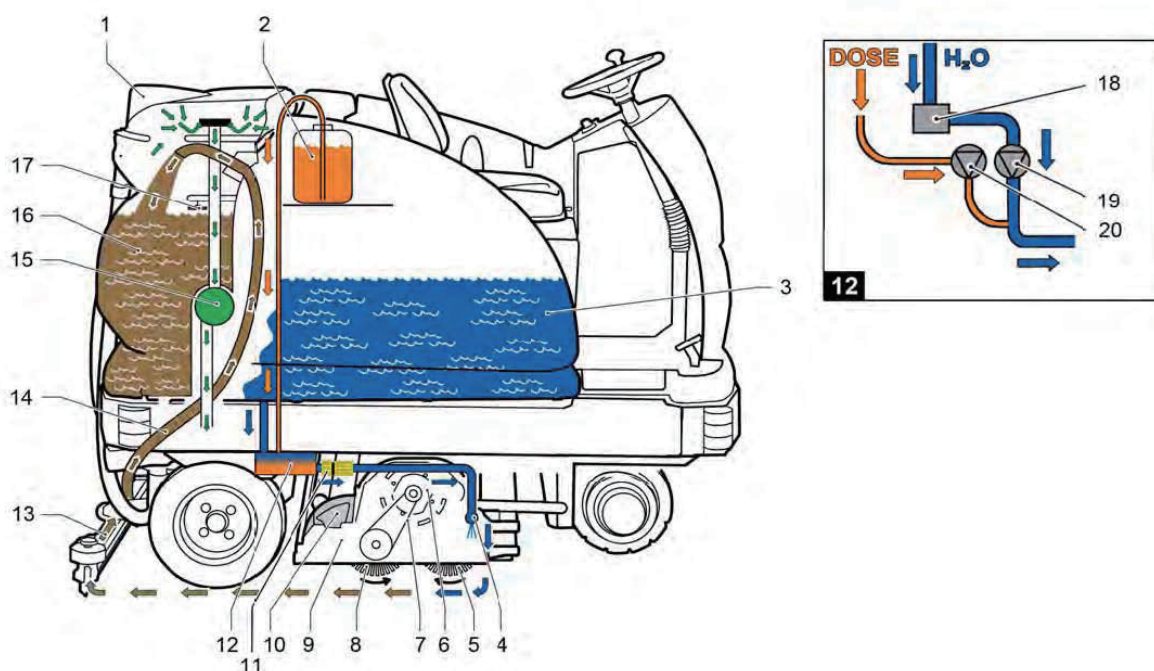


- 1 ハンドル
- 2 操作パネル
- 3 DOSE システム
- 4 汚水タンクカバー
- 5 汚水タンク
- 6 シート (スイッチ内蔵)
- 7 制御ユニット
- 8 給水口

- 9 清水タンク
- 10 ブラシヘッド (交換式)
- 11 後輪
- 12 排水口 (汚水)
- 13 スクイジー
- 14 電源ケーブル接続口
- 15 アクセルペダル



- 1 汚水フィルター
- 2 レベルスイッチ (汚水)
- 3 シール
- 4 フロートロッド
- 5 フロート
- 6 吸引口 (サクシオンタービンへ)
- 7 吸引口 (サクシオンタービン側)



- | | | | |
|----|-----------------|----|-----------|
| 1 | 汚水タンクカバー | 11 | ホースカップリング |
| 2 | 洗浄剤タンク | 12 | DOSE ポンプ |
| 3 | 清水タンク | 13 | スクイジー |
| 4 | 洗浄水吐出口 (ブラシヘッド) | 14 | サクションホース |
| 5 | 駆動側ローラー | 15 | サクションタービン |
| 6 | モーター | 16 | 汚水タンク |
| 7 | 駆動ベルト | 17 | 汚水レベルスイッチ |
| 8 | ローラーブラシ | 18 | 電磁ボールバルブ |
| 9 | ブラシヘッド | 19 | 給水ポンプ |
| 10 | プレスイープタンク | 20 | DOSE ポンプ |



< 操作パネル >

1 KIK キー (イエロー・グレー 各1)
 イエロー：作業者用
 グレー：管理者用

2 ディスプレー
 3 メニューボタン
 4 走行切替スイッチ
 5 ホーン
 6 プログラムスイッチ
 7 メインスイッチ
 (緊急停止スイッチ)
 I 作動準備 OK
 O 停止

メインスイッチ (緊急停止スイッチ)
 本体の電源 ON/OFF

プログラムスイッチ
 洗浄モードを簡単設定
 (各洗浄モード毎にプログラムを個別設定)

ディスプレイ
 グレーキーを挿入した場合
 メニューボタンを操作することにより各設定を変更することができます。

ディスプレイの色

KIKキー/色	バックライト/色
イエロー	イエロー
グレー	ホワイト
レッド	オレンジ
エラー表示	レッド



< KIK キーシステム >

イエロー KIK キー 作業者用 5.035-344.0

グレー KIK キー 管理者用 5.035-348.0

< 注意 >

複数の KIK キーを重ねて使用しないでください。
 KIK キーの認識エラーが生じます。



プログラムスイッチを選択してください。

- 1 OFF
- 2 走行モード
Transport Mode
- 3 ECOモード
(低速回転洗浄・吸引モード)
Eco Mode
- 4 清掃モード
(高速回転洗浄・吸引モード)
Normal Mode
- 5 パワーモード (ブラシ圧力)
Heavy Mode
- 6 洗浄モード
Scrubbing Mode
- 7 吸引モード
Vacuuming Mode
- 8 磨きモード
Polishing Mode

現場の状況に合わせてプログラムスイッチを操作してください。

	<p>洗浄モードの選択プログラム選択スイッチを回しおこないます。</p>	
	<p><注意> 洗浄モード毎に 個別設定が行えます。 洗浄メニュー毎に設定できる項目が異なります。</p>	
		<p>メニューボタンの操作により様々な個別設定が行えます。</p>
	<p>パラメータを選ぶために、メニューボタンを回転させます。 選択を確定するためにメニューボタンを押します。</p>	

5. 充電



ローメンテナンスバッテリー
240Ah 2V×18個

200Vの電源には必ず単独で使用してください。
消費電力：1840W
電圧：200V

<注意>

- バッテリーの極性を間違えないでください。バッテリーを正しく接続してください。充電器が壊れます。
- バッテリープラグを正しく差し込んでください。
- バッテリーの種類が正しいか確認してください。
- 製品ご購入後、初めてお使いになる前に必ず充電を行ってください。
※弊社からの製品出荷時は満充電状態ではありません。
- 弊社推奨バッテリー以外のバッテリーを使用しないでください。
- 充電の際は補水を行ってください。(P)

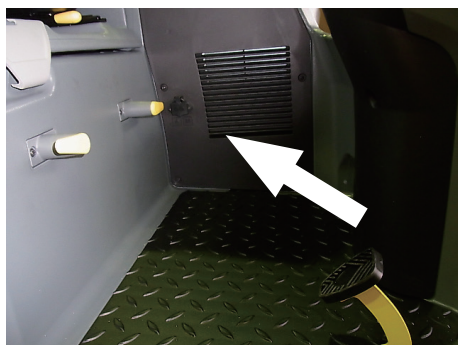
安全に充電器を使用するために下記記載に従って操作してください。

- 充電中に充電器が発する高周波の電磁波ノイズが周囲の電子機器に影響を与えないことを確認してください。
- 充電器の取扱説明書に従って使用してください。
- 充電器を正しく安全に使用するために、充電器を適切な方法で壁に取り付けてください。

充電器のファンの換気口を塞いではいけません。

- 充電を開始する前に、電源とバッテリーコネクタが接続されていないか確認してください。
- 通常の作動中、バッテリーは起爆性のガスを放出します。
バッテリーの近辺では、絶対に喫煙したり火花や炎を発生させてはいけません。
- 充電器のケーブルは延長しないでください。
- 絶対に本体側プラグに充電器を接続しないでください。
- 逆接続に注意してください。

200V 充電器



充電器は運転席左下に格納されています。

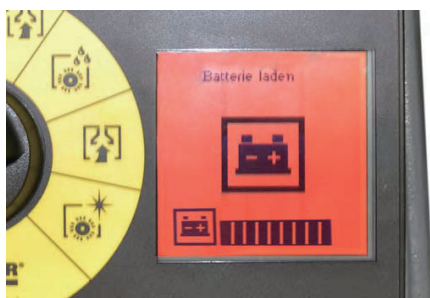


付属の電源ケーブルを接続してください。



電源プラグをコンセントへ接続してください。
(单相 200V 電源が必要)

満充電まで 10 ~ 12 時間かかります。



モニターで充電状態が表示されます。
満充電 90 分経過後充電が停止します。
充電終了後「Charging completed」が表示されます。

<注意>

- 充電中機械操作を行なうことはできません。
- 充電終了後電源ケーブルを取外してください。
- その後本体からコンセントを抜いてください。
- 異なるバッテリーを使用する場合はバッテリー充電の設定を変更する必要があります。
(ケルヒャーのサービスへご連絡ください)
- 本機には過放電防止装置が付いています。
- バッテリー充電が最低となっても走行のみ行なうことができます。
充電場所に直ちに移動してください。



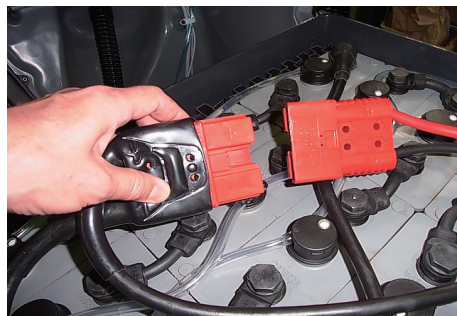
電源ケーブルをフックに巻くことができます。

100V 充電器

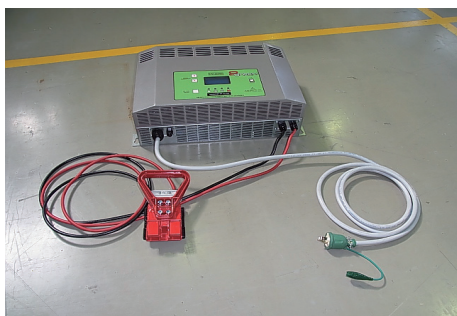


キースイッチを抜いてください。

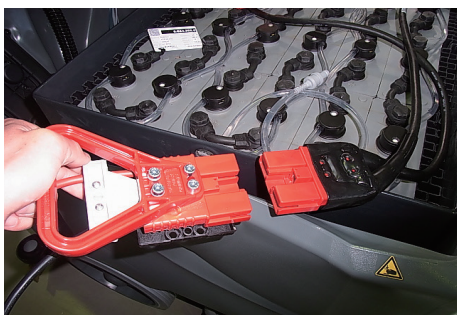
シートを持ち上げバッテリー格納部を開けてください。



コネクタを引き抜いてください。



充電器を用意し電源へ接続してください。



充電器側のコネクタとバッテリー側コネクタを
しっかり接続してください。

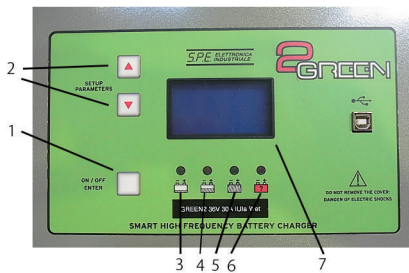


充電器のプラグを 100V のコンセントに接続してく
ださい。



充電

充電器のスイッチを入れてください。



1. 充電器スイッチ
2. モニター移動ボタン（使用しません）
3. 充電ランプ LED 4
4. 充電ランプ LED 3
5. 充電ランプ LED 2
6. 充電ランプ LED 1
7. モニター（使用しません）

充電開始：充電器のスイッチを入れます。
自動充電がスタートします。

充電終了：LED 1～3が点灯します。

充電中表示：下表を参照してください。

充電中断：充電器のスイッチを押してください。
その後接続したケーブルのプラグを抜いてください。

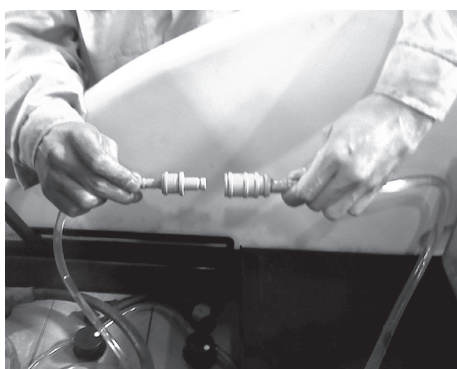
No.	説明	LED 4 (緑)	LED 3 (黄)	LED 2 (緑)	LED 1 (赤)	ディスプレイ
1	バッテリーのみ接続	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2	AC電源のみ接続	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
3	AC電源、バッテリー接続	ON	OFF	OFF	OFF	ON
4	自動充電スタート	BL	BL	BL	BL	ON
5	フェーズ1-定電流	BL	OFF	OFF	OFF	ON
6	フェーズ2-フェーズ7	BL	ON	OFF	OFF	ON
7	均等充電フェーズ	ON	ON	ON	OFF	ON
8	均等充電ON(進行中)	BL	BL	ON	OFF	ON
9	均等充電OFF(進行中)	ON	ON	ON	OFF	ON
10	メンテナンス	BL	BL	ON	OFF	ON
11	充電完了	ON	ON	ON	OFF	ON

ON: 点灯
BL: 点滅
OFF: 消灯



バッテリーの補水

充電を行う前に毎回補水を行ってください。
補水タンクに蒸留水を入れてください。
タンクをバッテリーより高い位置に設置してください。



バッテリー側カプラーと補水タンク側カプラーを
接続してください。



補水タンクのカプラーを開けてください。



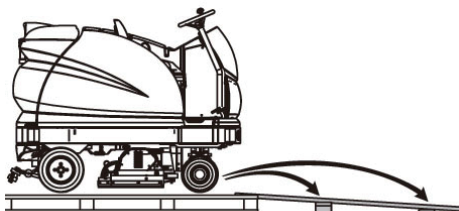
自動的に各バッテリーへ均等に補水が行なわれます。

補水中はプロペラが回転しています。
プロペラが停止した後、カプラーを取り外
してください。

6. パレットからの降ろし方



組み立ての際にケガをしないように
作業用手袋を着用しましょう！



パレットに組み込まれている歩み板を取外してください。
パレット前方へ固定してください。
歩み板は釘で固定し短い余り板を板の下に重ねて強度を
上げてください。
タイヤの前後にある留め木を取除いてください。

パレットから本体を移動させる。
ハンドルを上へアジャストしてください。
シート後部を持ち上げステーで固定されたことを確認してください。
シート裏側の電源プラグを差し込んでください。
シートをもとに戻してください。
ハンドル操作が最も行ないやすい位置に合わせてください。

非常停止スイッチの赤い部分を回し解除してください。
メインスイッチを ON にしてください。
ブラシヘッドを持ち上げる為にスイッチを押します。
ブラシヘッドの下部の梱包材を外します。
ハンドルを真直ぐにしてください。
走行スイッチを入れてください。
アクセル操作を行いゆっくりと前進させながら歩み板を走行してください。
移動後、メインスイッチを OFF にしてください。

機械を最初に作動させる前に、バッテリーを充電してください。

7. ブラシの着脱



ブラシの装着はスイッチを入れる前に行なってください。
ブラシの選択を間違えた場合床材を傷める場合があります。
作業前に必ず洗浄テストを実施してください。



< BR ローラーブラシ >

ノブを回しロックを解除してください。



サイドカバーを開いてください。



ノブを回しロックを解除してください。



ブラシカバーが脱落します。



ブラシを引き抜き、ブラシに装着されているプレートを外します。

ブラシを取り付ける場合は逆の手順になります。



< BD ディスクブラシ >

ブラシヘッド上部のグレーのペダルが取り外しペダルです。



ペダルを踏み込んでください。
ブラシが外れます。

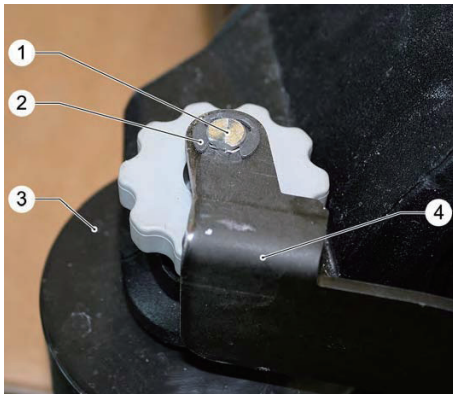


ブラシを引き抜いてください。

< 注意 >

外れない場合は ブラシを取付フランジに押し込んだ後
再度ペダルを踏み込んでください。

8. サイドスカートの調整



ブラシヘッドのローラーを回しサイドスカートの高さ調整を行ってください。

- 1 シャフト（高さ調整ノブ付）
- 2 Eリング
- 3 ローラー
- 4 サイドスカートフレーム



サイドスカートの高さを調整してください。

前後が均等に接触するよう調整してください。

<注意>

接触が不均一の場合汚水の取り残しが生じます。



※調整が必要な例 1

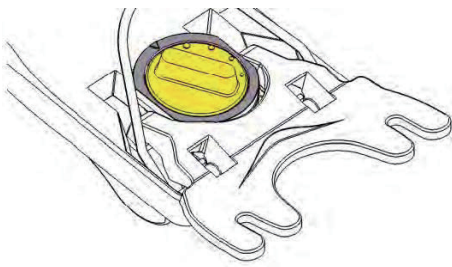
サイドスカートの前方が浮いています。



※調整が必要な例 2

サイドスカート全体が浮いています。

9. スクイジの取り付け



＜スクイジー角度調整ダイヤル＞
ダイヤルを操作することによりスクイジーの前後角度を調整することができます。
調整する場合はスクイジーを手で持ち上げながらダイヤル操作を行ってください。



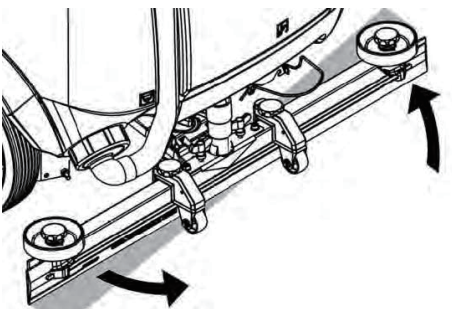
スクイジー角度を上げた状態です。



スクイジー角度を下げた状態です。



スクイジーをプレートにしっかり取り付けてください。
本体の吸引ホースをスクイジーの吸引口にしっかり差し込んでください。



目地のある床面を洗浄する場合
スクイジーを斜めにオフセットしてください。
(5度まで調整可能)



スクイジーが取り付けられた状態です。

10. スクイジー高さ調整

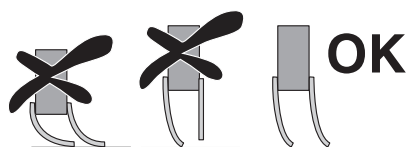


●高さ調整

スクイジー高さ調整ノブを回し、スクイジーゴムの接地状態を微調整することができます。

使用環境に合わせて設定を行ってください。

調整が合っていない場合
汚水回収に著しい影響を及ぼします。
スクイジーゴムの摩耗を早めます。



11. シートの調整



シートに座り、アクセルペダルやハンドルの操作がしやすいようにシート位置を前後に調整します。

<注意>

シートから作業者が離れた場合は本体機能が全停止します。



シート下部の黄色いレバーを内側に押した状態でシートを前後にスライドすることができます。



アクセルペダルを踏み込んでください。

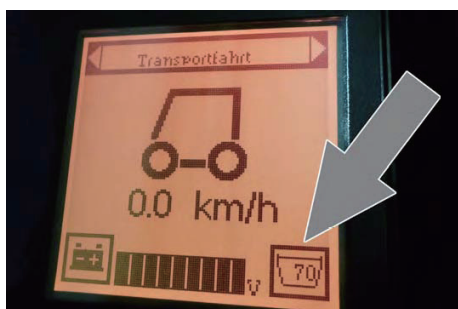
お尻が浮くようならばシートを前方にスライドしてください。



ハンドルまたはハンドルノブを握り違和感なく操作できるようシート位置を調節してください。

ハンドルまたはハンドルノブは操作しやすい方を握ってください。

12. 給水



残水表示

タンクに組み込まれたセンサーで水量を表示します。
3秒毎に表示は更新されます。



給水

ハンドル側面に給水口があります。
一般的なホースカップリングをそのまま接続することができます。
清水タンクが満水になると給水が自動停止します。



ホースを別途ご用意ください。
ホースにカップリングを取付けてください。

給水カバーを開けてください。
ホースカップリング（メス）を接続カップリング（オス）
にしっかり差し込んでください。
水道栓を開けてください。
清水タンクが満水になると給水が自動停止します。

13. 洗剤

思わぬ怪我や身体への影響、作業場の安全、機械の故障を防止するため、推奨された洗剤の御使用をお勧めします。

溶剤および塩酸、フッ酸を含まない洗剤を御使用下さい。洗剤の取扱説明書の指示に従って使用してください。

発泡性の高い洗剤を使用しないでください。



< DOSE システム >

洗剤は設定濃度 (MAX3%) に自動希釈されブラシヘッド前方から散水されます。



専用洗剤ボトルを積載場所に置いてください。

キャップを外してください。

洗剤吸引ホースを洗剤ボトルに挿入してください。

洗剤を使用後はDOSEシステムで洗剤濃度を0%とし洗剤を使用することで、DOSEシステム内部での洗剤の詰まりを防止することができます。

DOSEユニットで最大3%までの洗剤濃度とすることができます。これより高い洗剤濃度にする場合は、清水タンクに洗剤を追加して下さい。

清水タンクの清水が空になった場合はDOSEシステムは停止し、ブラシは洗剤無しで作動を続けます。

清水タンクに洗剤を投入する場合、洗剤の乾燥によるポンプの詰まりを防止するため、洗剤を清水タンクに投入して使用した場合は、使用後に清水タンクを清水で洗浄して下さい。

また、清水タンクに清水を貯め、DOSEシステムで洗剤濃度を0%にした後洗浄モードで機械を使用して、洗剤の詰まりを防止して下さい。



キャップを閉めてください。

洗浄モードで洗剤濃度を調整してください。

< 長期間保管時の注意点 >

洗剤がホース内部で固まる場合があります。

別途容器に清水を用意してください。

2分間洗浄モードで作動させホース内部をすすいでください。

清水タンクの水を全て排水してください。

14. 走行

- シートに正しく着席して下さい。
K I Kキーを挿入して下さい。
メインスイッチを押してIの位置にして下さい。
走行方向を前方に選定します。
プログラムスイッチで走行モードを選択します。
アクセルペダルを操作して必要な速度で走行します。
アクセルペダルから足を離して機械を停止します。
- 走行方向の選択は走行中にも可能です。ひどく汚れた部分を前後に繰り返し洗浄する場合に有効です。
- 走行モーターの負荷が過大になった場合は、走行モーターが自動的に停止しエラーメッセージが表示されます。同様に過熱した場合にもモーター自動的に停止します。
この場合15分以上放置してモーターを冷却して下さい。
プログラム選択スイッチをOFFにし、冷却後、再度プログラムスイッチで作業モードを選択して下さい。

<注意>

- 機械のブレーキがかからない場合は、次のようにして下さい。
アクセルペダルを戻しても傾斜面（2%以上）で機械が停止しない場合メインスイッチを必ずOの位置だけにして下さい。御使用前にブレーキが正しく作動することを必ず確認してください。
機械は平らな面で完全に停止してからメインスイッチをオフ“I”にしてください。
- 10%以上の坂道で使用しないで下さい。
10%以上横に傾斜する面で使用、走行しないで下さい。
不安定な路面ではゆっくりと走行して下さい。
早い速度でハンドルを操作すると転倒の恐れがあります。
旋回時には速度を落として走行して下さい。
濡れた面ではスリップする可能性があります。
濡れた路面ではゆっくり走行して下さい。

<パーキングブレーキ>

- 事故を防止するため作業を開始する前に平らな場所でブレーキを必ず確認して下さい。
- 機械のメインスイッチを入れて下さい。
走行方向を前方に選定します。
プログラムスイッチで走行モードを選択します。
ゆっくりとアクセルペダルを踏み込みます。
- ブレーキが解除される音がします。機械が滑らかに動き出すことを確認して下さい。
アクセルペダルから足を放すとブレーキがかかる音が聞こえます。
もし、ブレーキの音が聞こえない場合はケルヒャーに連絡して下さい。

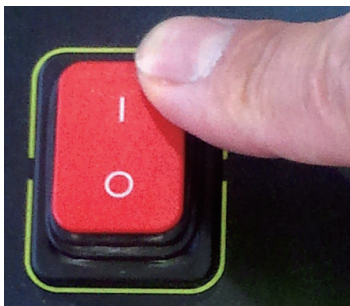
15. 操作方法

始動

スイッチを入れて下さい。
シートに座り、K I Kキーを挿入して下さい。
メインスイッチを押してIの位置にして下さい。
プログラムスイッチを回し必要な作業位置を選択します。



グレー キーを挿入して下さい。



メインスイッチを入れてください。



プログラムスイッチを走行モードに回して下さい。
<注意>
アクセルペダルを踏まないでください。

<停止>

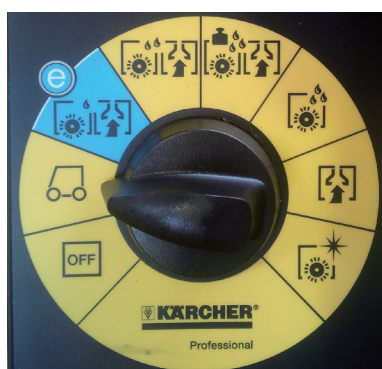
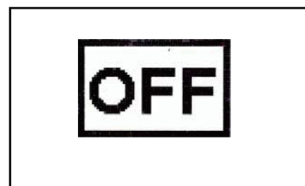
プログラムスイッチをOFF位置にします。
K I Kキーを抜きます。
ホイールを固定して、機械が転がることを防止します。
必要に応じ、充電を行います。

16. 作業モード毎の表示



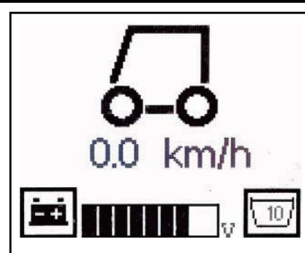
◀ No Program ▶

OFF デバイス停止



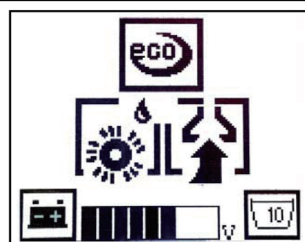
◀ Transport Mode ▶

走行モード
Transport Mode



◀ Eco Mode ▶

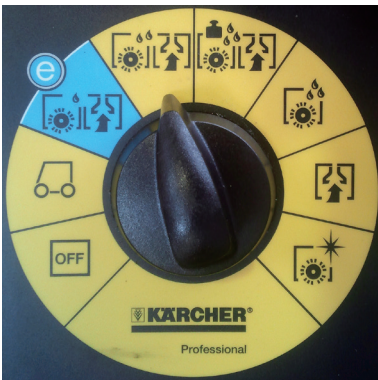
Eco Mode
エコモード



プログラム項目

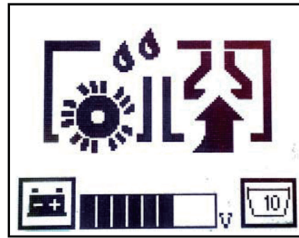
初期プログラム設定

水量の調節	20%
作業スピードの調節	100%
洗浄剤濃度の調節	0.5%
ブラシ圧力の調節	50%
ブラシ回転モードの調節	Fine
吸引強さの調節	Low
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	



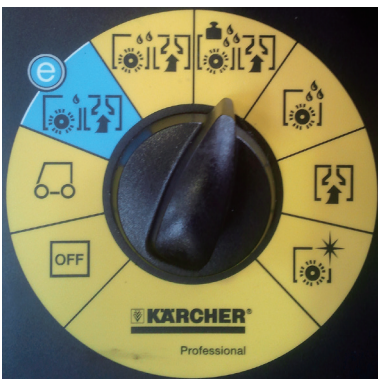
◀ Normal Mode ▶

清掃モード
Normal Mode



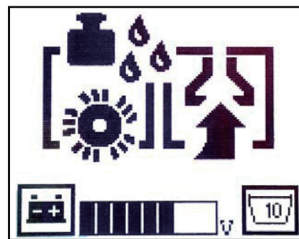
プログラム項目 初期プログラム設定

- 水量の調節 50%
- 作業スピードの調節 100%
- 洗浄剤濃度の調節 1.5%
- ブラシ圧力の調節 70%
- ブラシ回転モードの調節 Wisper
- 吸引強さの調節 High
- ホーン設定 off
- 基本設定に戻す
- 終了



◀ Heavy Mode ▶

パワーモード
Heavy Mode



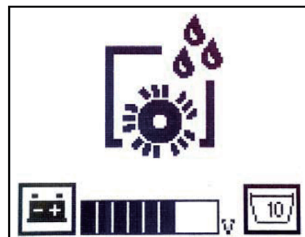
プログラム項目 初期プログラム設定

- 水量の調節 80%
- 作業スピードの調節 100%
- 洗浄剤濃度の調節 2.5%
- ブラシ圧力の調節 100%
- ブラシ回転モードの調節 Power
- 吸引強さの調節 High
- ホーン設定 off
- 基本設定に戻す
- 終了



◀ Scrubbing ▶

洗いモード
Scrubbing Mode



プログラム項目

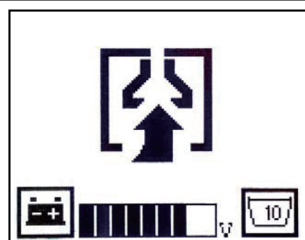
初期プログラム設定

水量の調節 50%
 作業スピードの調節 100%
 洗浄剤濃度の調節 1.5%
 ブラシ圧力の調節 100%
 ブラシ回転モードの調節 Power
 ホーン設定 off
 基本設定に戻す
 終了



◀ Vacuum ▶

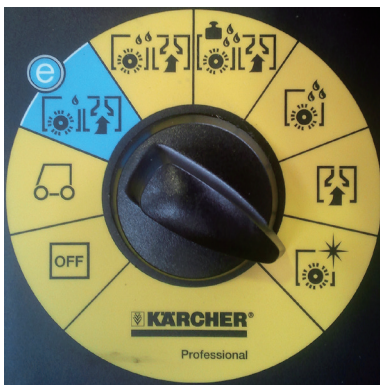
吸引モード
Vacuuming Mode



プログラム項目

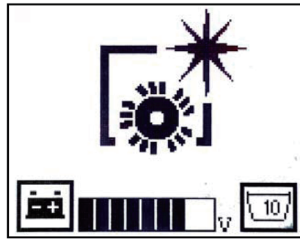
初期プログラム設定

作業スピードの調節 100%
 吸引強さの調節 High
 ホーン設定 off
 基本設定に戻す
 終了



◀ Polishing ▶

磨きモード
Polishing Mode







プログラム項目

初期プログラム設定

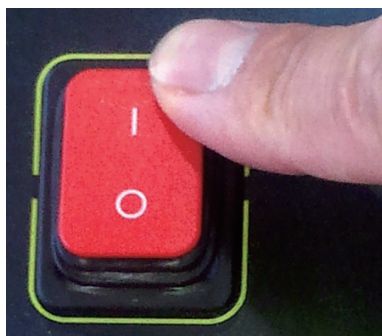
作業スピードの調節	100%
ブラシ圧力の調整	100%
ブラシ回転モードの調節	Power
ホーン設定	off
基本設定に戻す	
終了	

17. 設定方法

	<p>洗浄モードの選択プログラム選択スイッチを回しおこないます。</p>	
	<p><注意> 洗浄モード毎に 個別設定が行えます。 洗浄メニュー毎に設定できる項目が異なります。</p>	
		<p>メニューボタンの操作により様々な個別設定が行えます。</p>
		<p>パラメータを選ぶために、メニューボタンを回転させます。 選択を確定するためにメニューボタンを押します。</p>



グレー KIK キーを挿入してください。

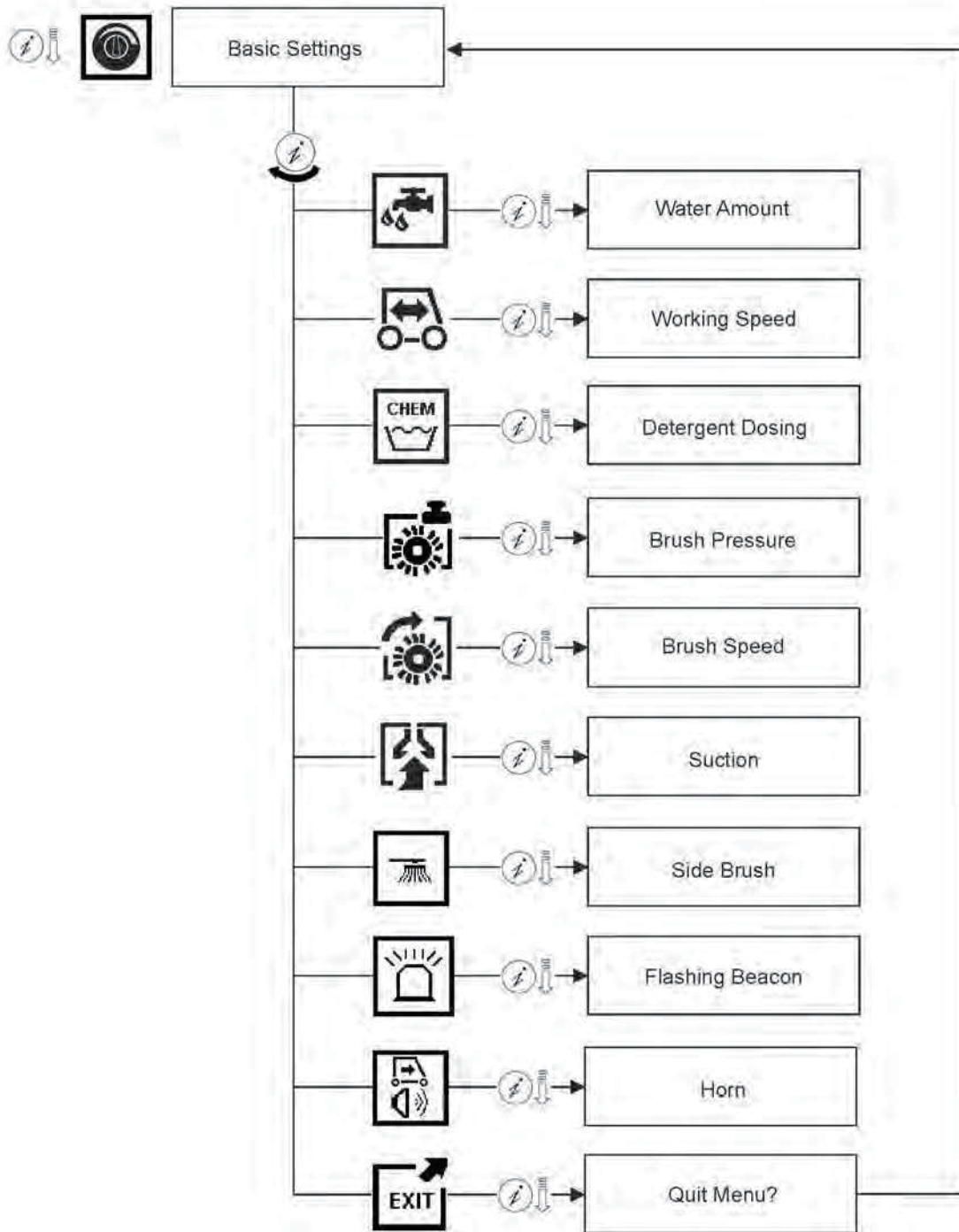


メインスイッチを入れてください。



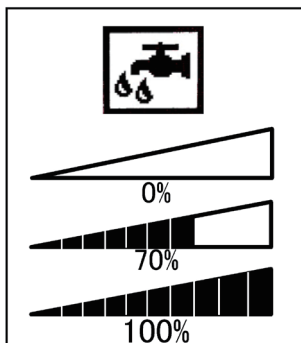
プログラムスイッチを走行モードに回してください。
<注意>
アクセルペダルを踏まないでください。

18. 標準設定 (Standard setting)



作業中に行える設定

Water Amount



< Water Amount >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


水量調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し Water Amount を選んでください。

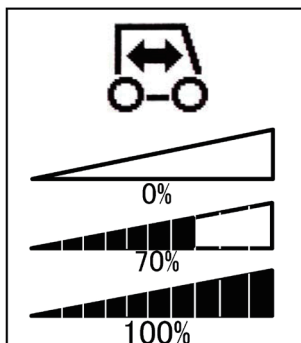
メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回すと水量を 0～100% の範囲で

調整することができます。

調整終了後メニューボタンを  押してください。

Working Speed



< Working Speed >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。

作業最高速の調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。


メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回し Working Speed を選んでください。

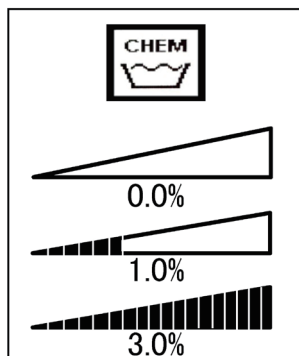
メニューボタンを  押してください。

メニューボタンを  回すと最高速度を 0～100% の範囲

で調整することができます。

調整終了後メニューボタンを  押してください。

Detergent Dosing



< Detergent Dosing >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


洗浄剤添加量

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを   押してください。



メニューボタンを  回し洗浄剤添加量を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

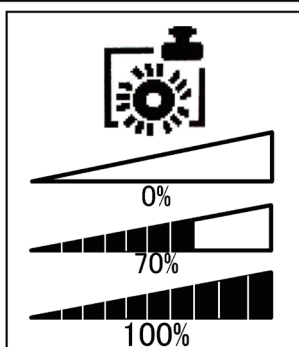
メニューボタンを  回すと洗剤添加量を 0～3%の範囲

で (0.5% 刻み) 調整することができます

0 ⇄ 0.5 ⇄ 1.0 ⇄ 1.5 ⇄ 2.0 ⇄ 2.5 ⇄ 3.0

調整終了後メニューボタンを   押してください。

Brush Pressure



< Brush Pressure >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


面圧調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。



メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Brush Pressure を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと面圧を 0～100%の範囲

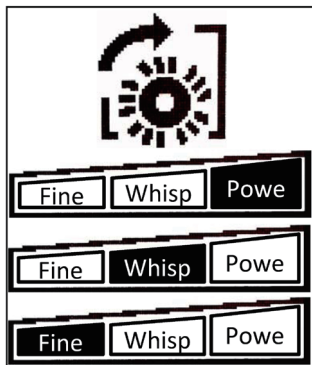
で調整することができます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。

<注意>

面圧を高く設定した場合 床面を損傷する場合があります。

Brush Speed



< Brush Speed > BRのみ

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。


ブラシスピード（BRのみ）

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを  押ししてください。

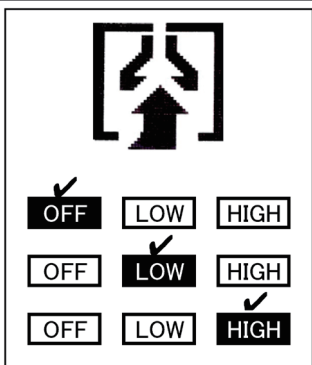
メニューボタンを  回し Brush Speed を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  回すと低速 / 中速 / 高速を選べます。

調整終了後メニューボタンを  押ししてください。

Suction



< Suction >

作業中の各プログラムごとに個別変更を行うことができます。

吸引力調整

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  回し Suction を選んでください。

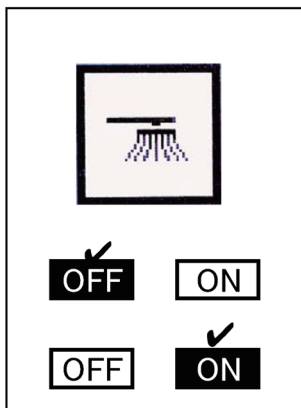
メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  回すと停止 / 弱 / 強を選べます。

メニューボタンを回すと吸引力を3段階調整することができます。

調整終了後メニューボタンを  押ししてください。

◀ Side Brush ▶



< Side Brush >

オプション取付時のみ表示

サイドブラシ作動


プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

メニューボタンを  押ししてください。

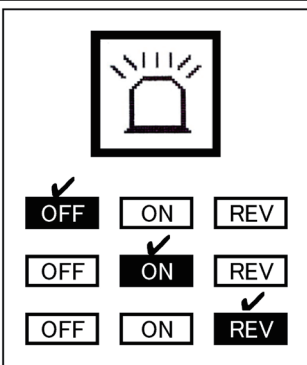
メニューボタンを  回し Side Brush を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを回すと作動 / 停止をを選べます。

調整終了後メニューボタンを  押ししてください。

◀ Flashing Beacon ▶



< Flashing Beacon >

オプション取付時のみ表示

回転灯点滅


プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

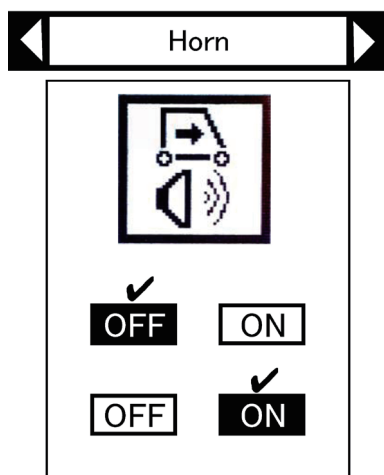
メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  回し Flashing Beaco を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  回すと停止 / 点滅 / 後退点滅を選べます。

調整終了後メニューボタンを  押ししてください。



< Horn >

前進アラーム

プログラムスイッチを作業モードに合わせてください。

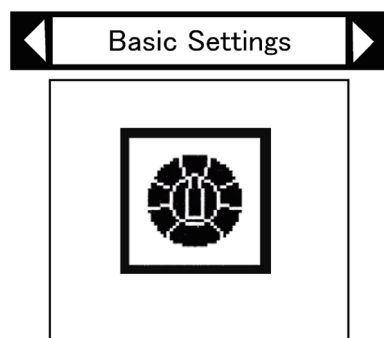
メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回し Horn を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

メニューボタンを  回すと停止 / 作動を選択できます。

調整終了後メニューボタンを   押してください。



NO ACCESS



< Basic Settings >

初期設定のままの場合表示されます。

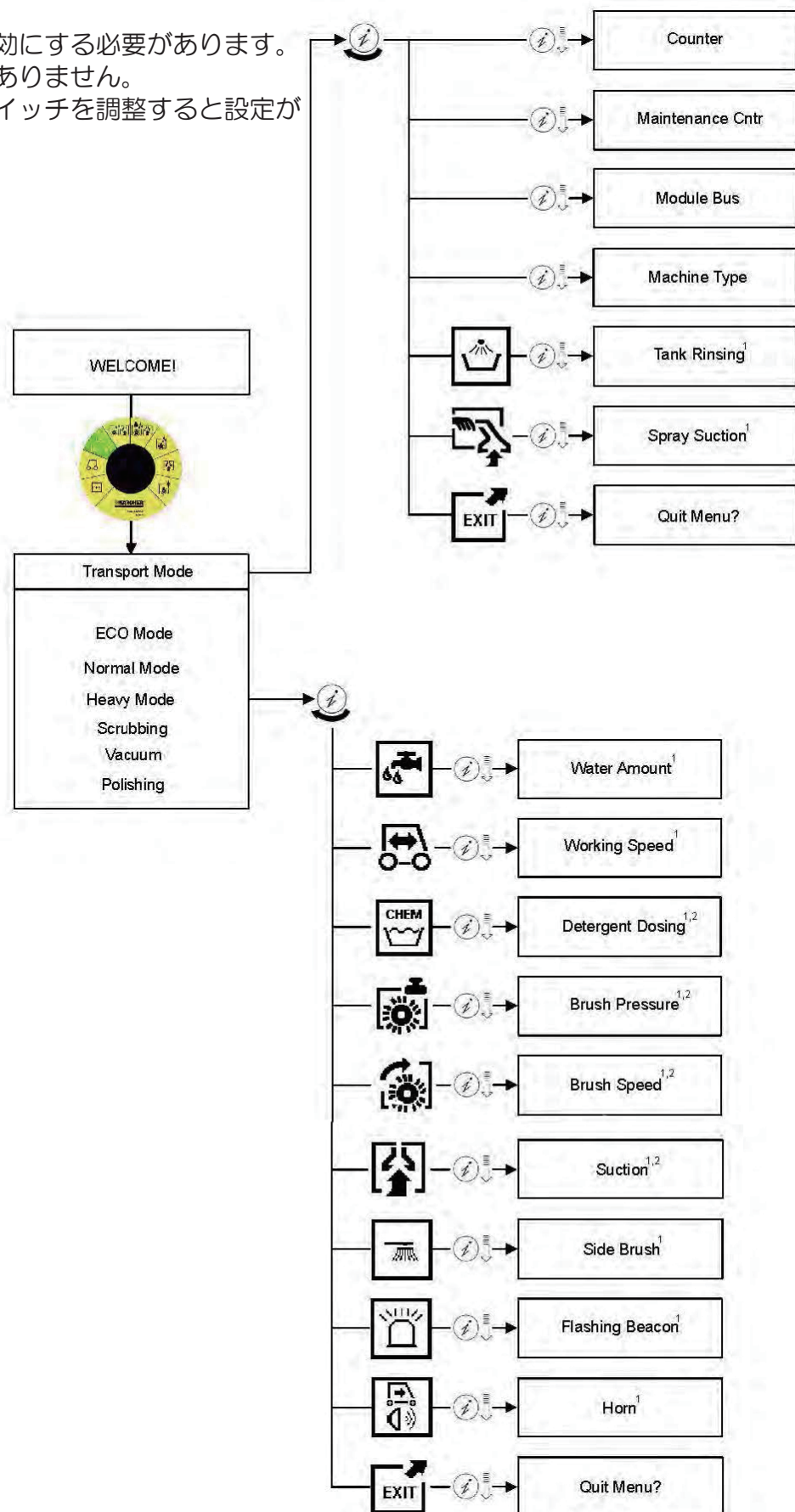
< NO Access >

KIK キーが認識できません。

新しいキーを挿入し作動確認を行ってください。

19. イエロー KIK キー

メニューは、キーメニューで有効にする必要があります。選択は永久的ではありません。プログラム選択スイッチを調整すると設定が失われます。



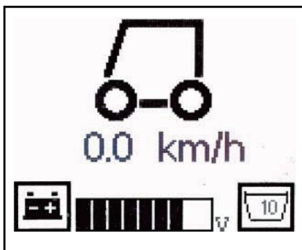
イエロー KIK キー 設定



< 起動画面 >



< Transport Mode >



メニューボタンを  押してください。



< Counter >



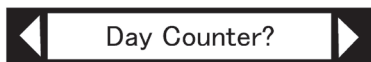
時間が表示されます。

Operation Hours 作動時間

Day Counter 前日の作動時間

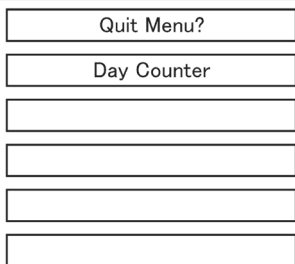
Service Counter 整備までの残り時間

メニューボタンを  押してください。



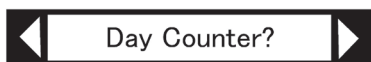
< Day Counter ? >

前日の作業時間を表示



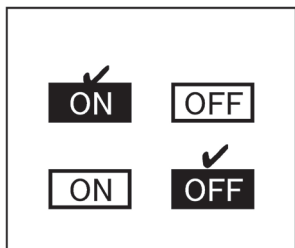
メニューボタンを  回し

メニューボタンを  押してください。



メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。



メニューボタンを  押してください。

Yes リセットされます。

No リセットは行われません。

20. メンテナンスカウンタ（Maintenance counter）

Maintenance counter リセット（メンテナンスカウンタ）

スイッチを入れるとセルフテストに移行します。

メンテナンスカウンタが作動すると

ディスプレイに“Maintenance XX”というメッセージが表示されます。

このメッセージは[情報]ボタンで確認されるまで、セルフテストは完了しません。

作業者は黄色または灰色のKIKキーでメンテナンスカウンタをリセットできます。

情報ボタン「メンテナンス xxx」でメッセージを確認できない場合

⇒ 自己診断を完了できずこの状態では動作しません。

メンテナンスカウンタがリセットされていない場合

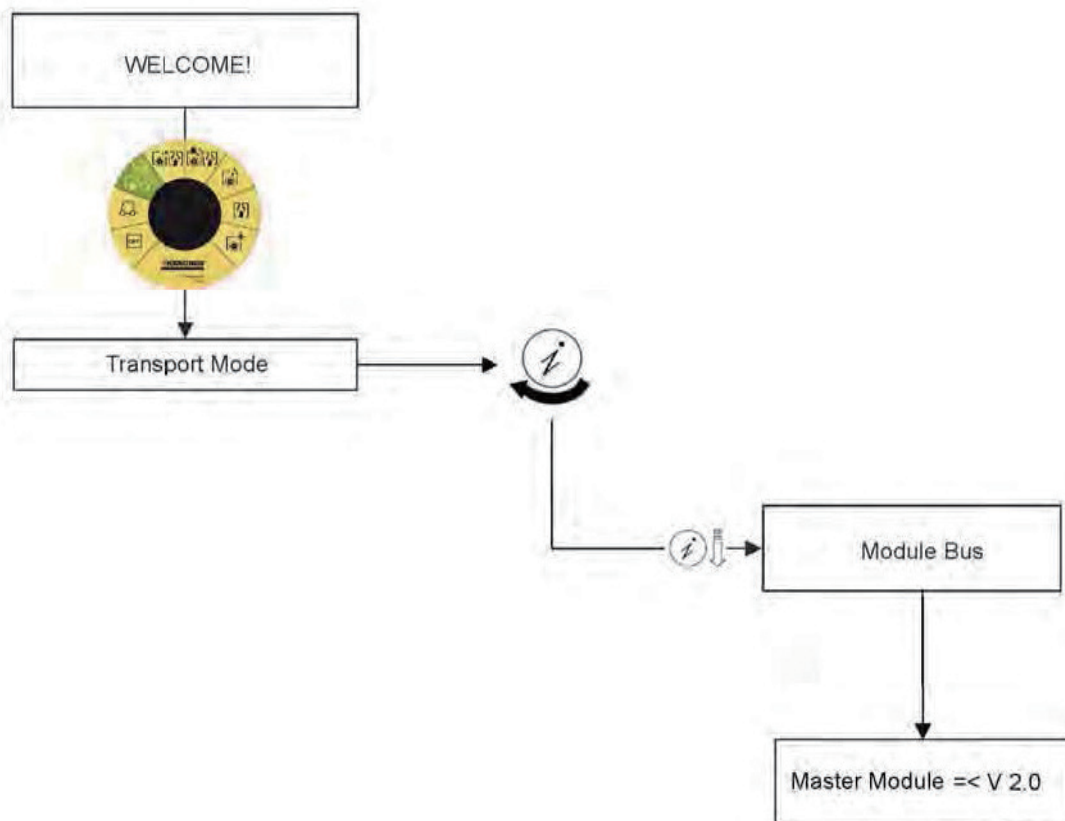
再起動するたびにメッセージが表示されます。

メンテナンスカウンタから、

⇒ I ボタン（回転と確認）でメニューを通過すると、移動モードに移行します。

それぞれのメンテナンスカウンタは

⇒ Erase counter メニューで消去することができます。

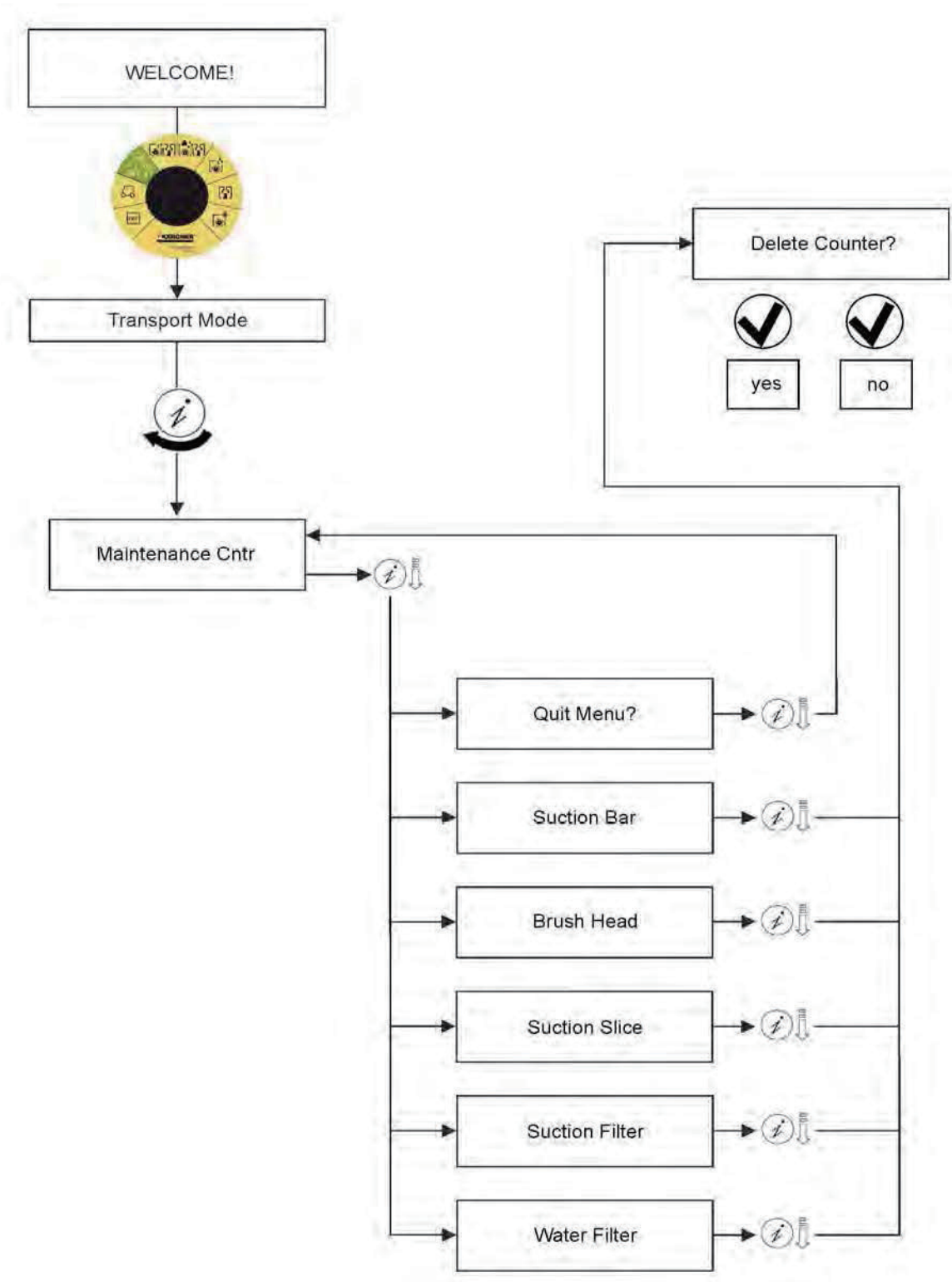


ヘッド CPU ソフトウェアバージョン V2.0 以降

設定時間後にメンテナンス作業を実行するようお客様にメッセージを表示します

- 20 作業時間： **check, clean suction bar**
吸引ノズルの清掃・調整を行ってください。
- 50 作業時間： **clean turbine strainer or replace**
汚水タンク 吸引フィルターの清掃を行ってください。
- 50 作業時間： **clean fresh water filter, check or replace**
清水タンク フィルターの清掃を行ってください。
- 100 作業時間： **clean and check brush head**
ブラシヘッドの清掃を行ってください。
ブラシの摩耗・サイドストリップの調整・交換
- 100 作業時間： **clean and check Suction Slice**
スクイジーの清掃・交換を行ってください。


メンテナンスカウンターのリセット方法



◀ Maintenance Cntr ▶



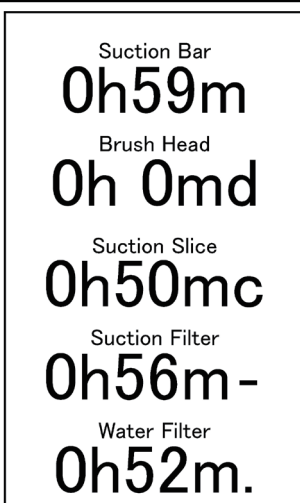
< Maintenance Cntr >

メニューボタンを  回し

Maintenance Cntr を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

◀ Maintenance Cntr ▶



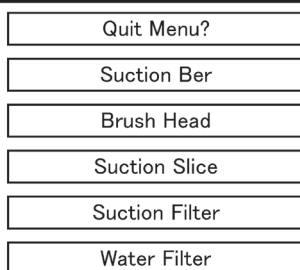
< カウンターの設定 >

点検までの残り時間を表示します。


Suction Bar	スクイジー
Brush Head	ブラシヘッド
Suction Slice	スクイジーゴム
Suction Filter	フィルター
Water Filter	清水フィルター


⇒ 0h56m- : 点検時間を 56 分超過を示します。

◀ Delete Counter? ▶

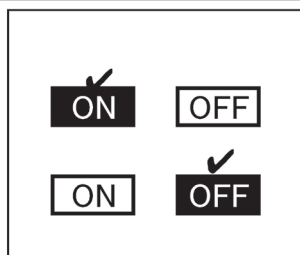


< Delete Counter? >

メニューボタンを   押すとリストが表示されます。

メニューボタンを  回しリセット項目を選んでください。

◀ Delete Counter? ▶





メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。

メニューボタンを   押してください。

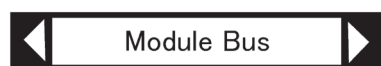
Yes リセットされます。

No リセットは行われません。

リセット後 Quit Meun? を選びメニューボタンを   押す

と Maintenance Cntr から出ることができます。

21. 制御ユニットバージョンの表示 / 機械の表示 / 設定の終了



Kopt CPU V 2. 0. 0
Traction Module Clonel V2.1
Charging Module Clonel V1.2
Lift Module Clonel V1.0
Cleaning Module Clonel V4.1

< Module Bus >

制御ユニットのバージョン確認（変更操作はできません）

メニューボタンを  回し Module Bus を選んでください。

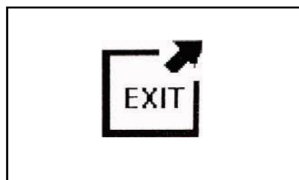


B150R
+497195 14-0
Kaercher-Service
Alfred Kaerch Str. 28-40
71364 Winnenden

< Machine Type >


Machine Type の表示（変更操作はできません）

メニューボタンを  回し Machine Type を選んでください。

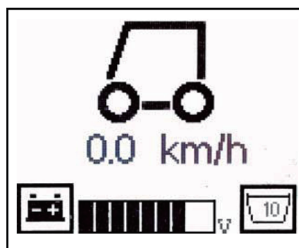


< Quit Meun? >

イエローキーは Quit Meun? へ移行します。

メニューボタンを  押すと Transport Mode へ戻ります。

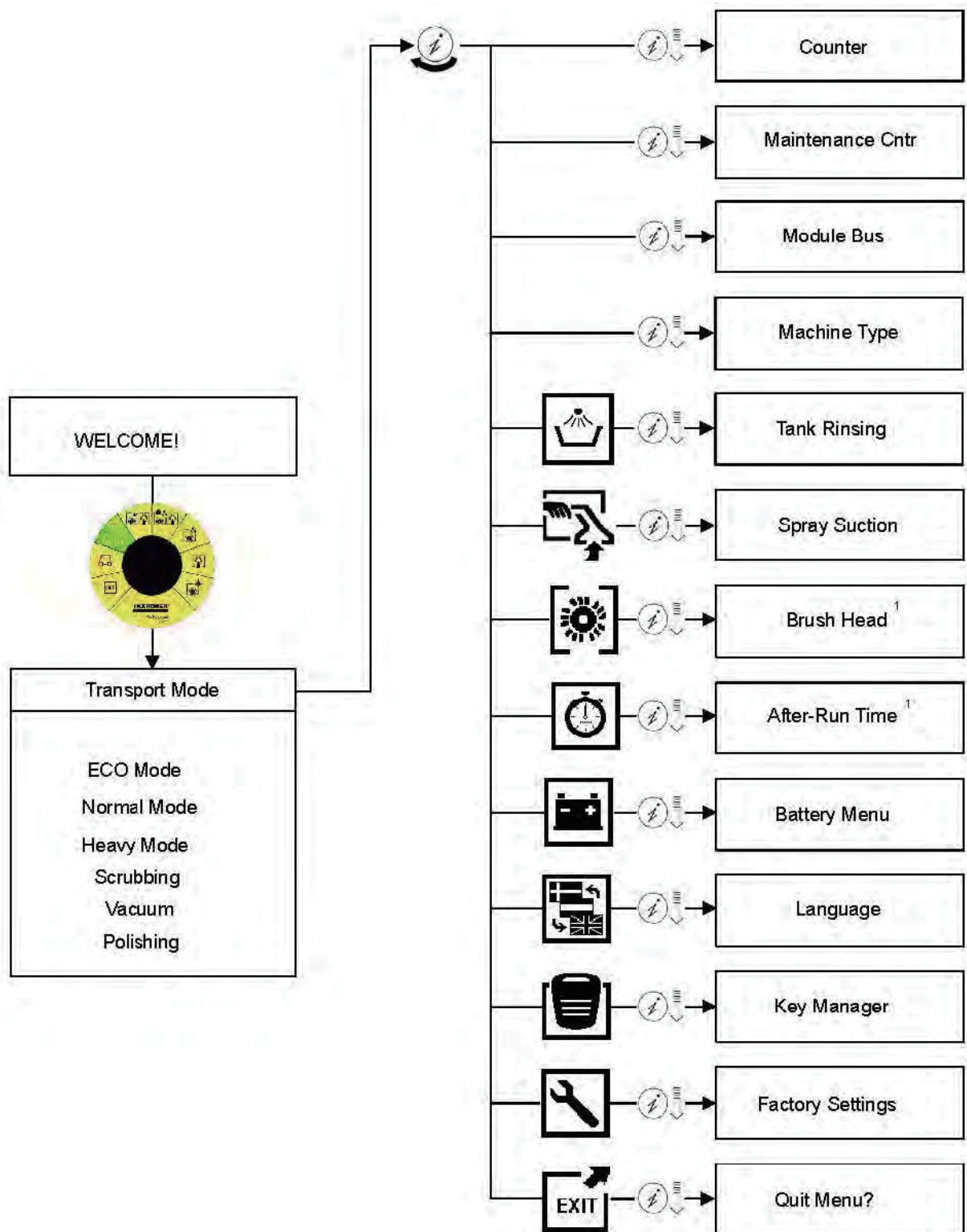
グレー KIK キーは次のメニューへ移行します。

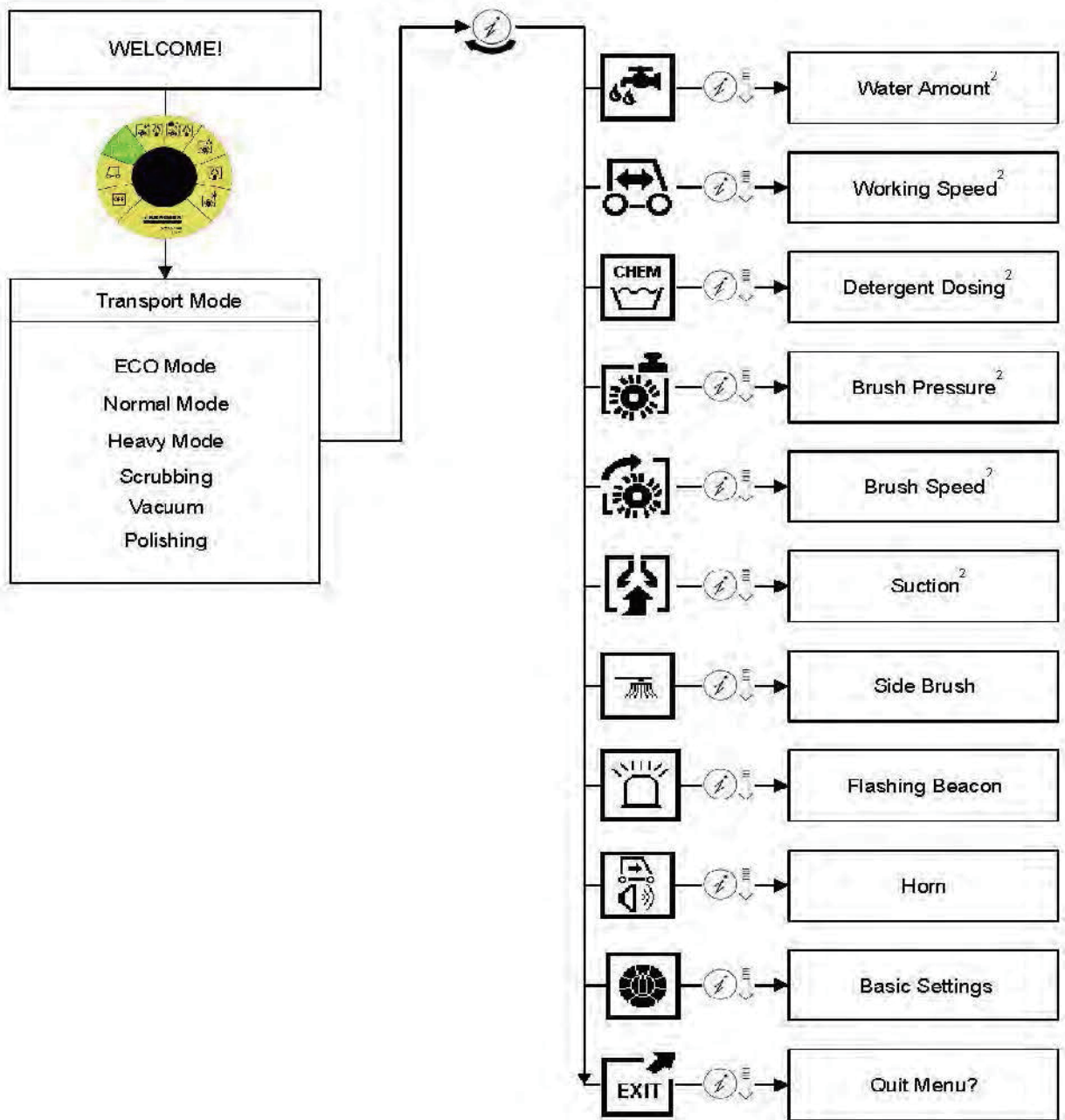


22. グレー KIK キー

<管理者用の KIK キー>

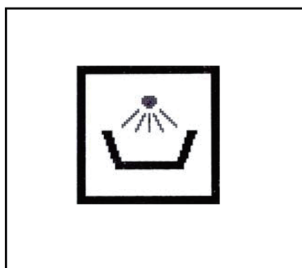
設定変更など現場に即した設定が行えます。






メニューは、
 キーメニューで有効にする必要があります。
 選択は永久的ではありません。
 プログラム選択スイッチを調整すると設定が
 失われます。

グレーキーの設定



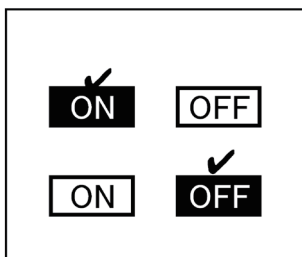
< Tank Rinsing >

未設定の場合は表示されません。

メニューボタンを  回し

Tank Rinsing を選んでください。

メニューボタンを  押してください。



メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

Yes 洗浄が行われます。

No メニューから抜けます。



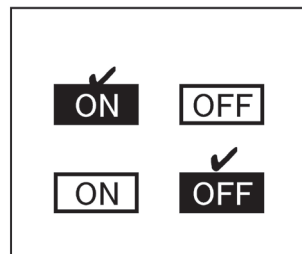
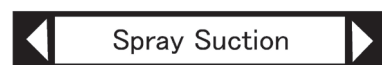
< Spray Suction >

未設定の場合は表示されません。

メニューボタンを  回し

Spray Suction を選んでください。

メニューボタンを  押してください。



メニューボタンを  回し

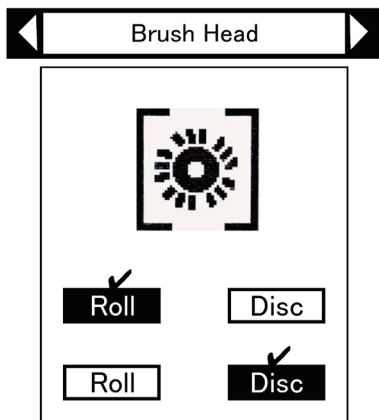
Yes / No を選んでください。

メニューボタンを  押してください。

Yes サクションタービンが作動します。

No メニューから抜けます。

ブラシヘッド種類の設定方法



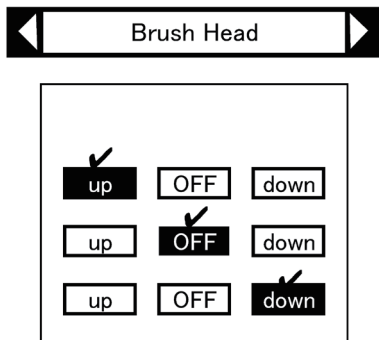
< Brush Head >
ブラシヘッドの種類を選びます。

メニューボタンを  回し Brush Head 選んでください。

Roll BR ヘッド
Disc BD ヘッド

メニューボタンを  回してください。

Roll / Disc を選んでください。



< ブラシの昇降 >

メニューボタンを  回し

up / OFF / down を選んでください。

メニューボタンを  押し  押し  を入れてください。

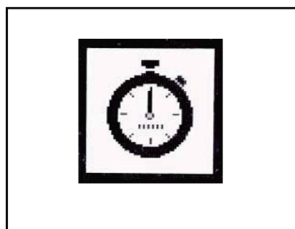
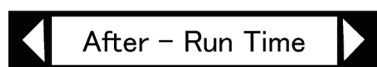
チェックマーク表示後 電源が切れます。



再起動

プログラムスイッチを OFF にした後再度プログラムスイッチを走行モードにし Brush Head が積載ヘッドと同じか確認してください。

遅延時間の設定方法



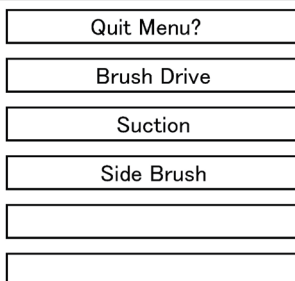
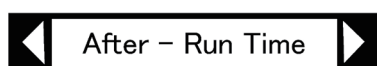
< After-Run Time >

停止後の作動時間を変更することができます。

メニューボタンを 回し

After-Run Time を選んでください。

メニューボタンを 押しとリストが表示されます。



メニューボタンを 回し変更を行う項目を選んでください。

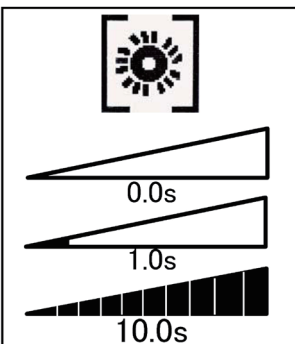
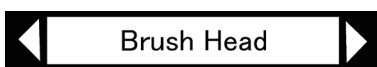
選んだ項目が点滅します。

Brush Drive ブラシ作動時間

Suction サクションタービン作動時間

Side Brush グレー KIK キーでは設定できません。

メニューボタンを 押してください。



< Brush Head >

ブラシ作動時間の変更

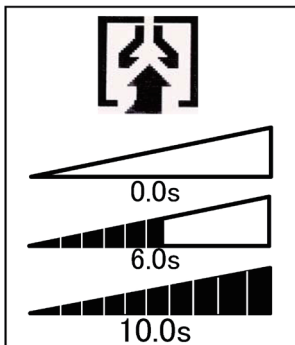
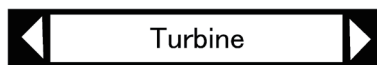
メニューボタンを 回し時間設定を行ってください。

0～10秒の範囲で調整が行えます。

メニューボタンを 押してください。

<注意>

停止後の動作時間を設定する場合は床材を確認し設定してください。(初期設定：1秒)



< Turbine >

サクションタービン作動時間の変更

メニューボタンを 回し時間設定を行ってください。

0～10秒の範囲で調整が行えます。

メニューボタンを 押してください。

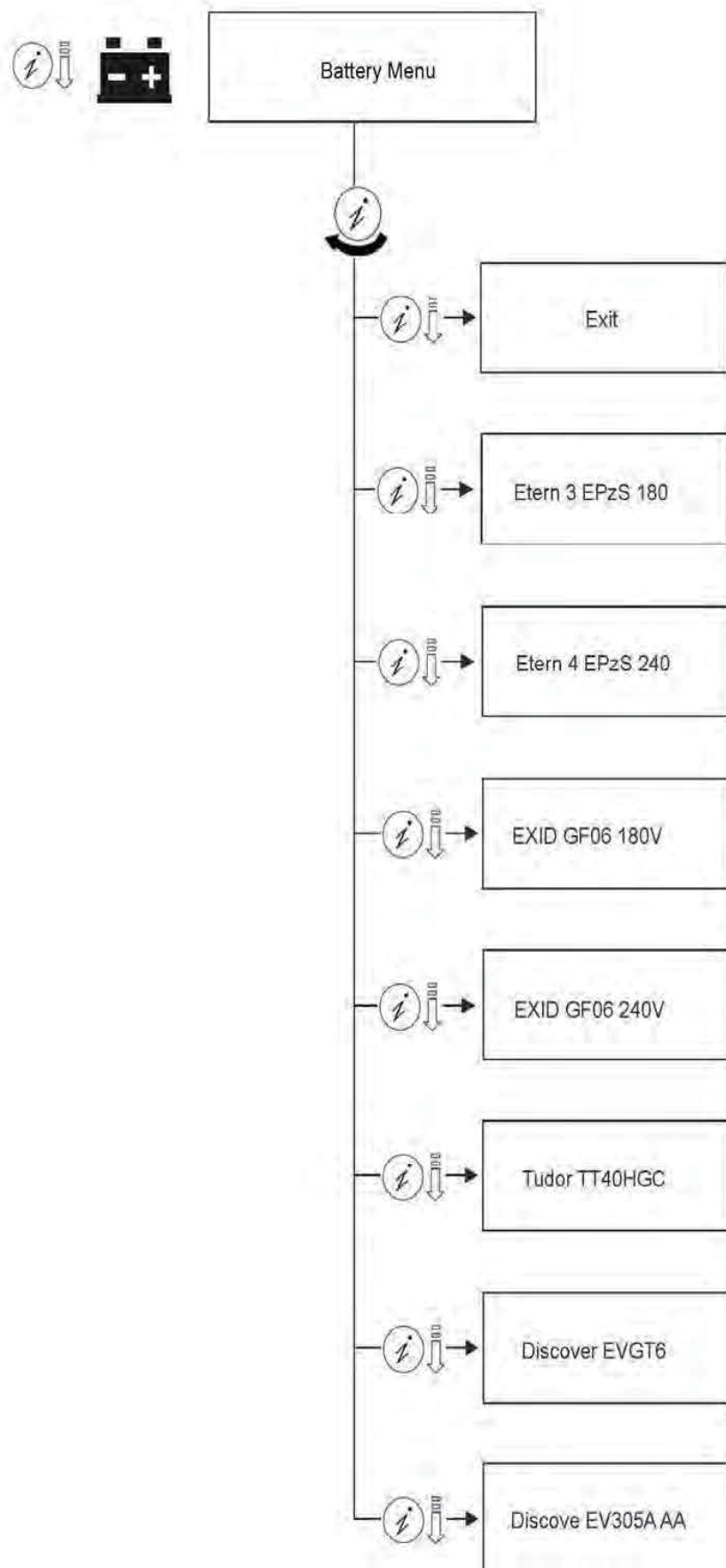
<注意>

停止後の動作時間を短くした場合

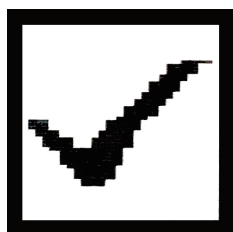
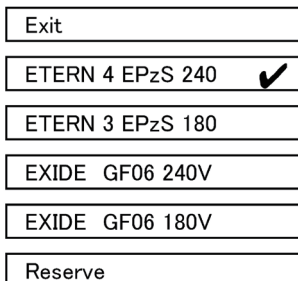
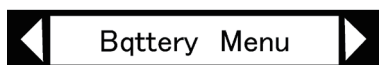
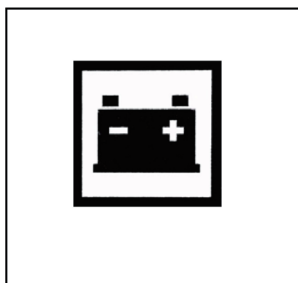
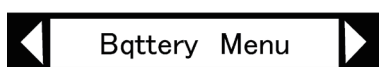
サクションホース・スクイージーから汚水が垂れます。

(初期設定：6秒)

Battery menu (バッテリーの選定)



バッテリーの設定



< Battery Menu >
積載バッテリーの設定します。

メニューボタンを  押し

Battery Menu を選んでください。

メニューボタンを  押ししてください。

メニューボタンを  押し

積載バッテリーと同じ設定を選んでください。

メニューボタンを  押し  を入れてください。

異なるバッテリーを選択した場合
バッテリー・充電器を損傷する場合があります。

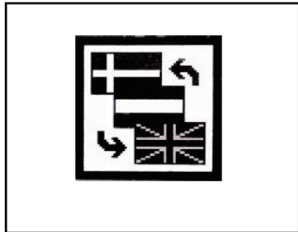
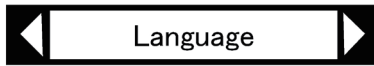
メニューボタンを  押しチェックを変更してください。

設定変更後

メニューボタンを  押し Exit を選んでください。

メニューボタンを  押しメニューから出てください。

表示言語の設定

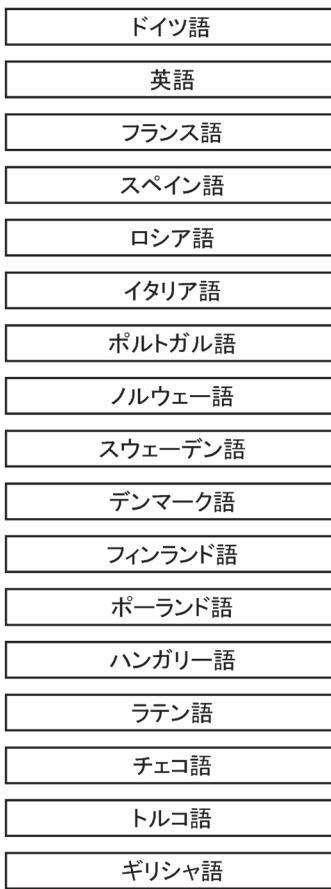
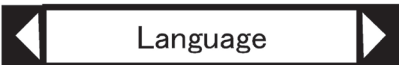


< Language >
表示言語を設定します。

メニューボタンを 回し

Language を選んでください。

メニューボタンを 押してください。

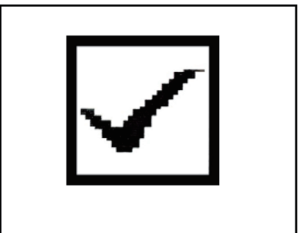


表示言語を設定します。

メニューボタンを 回し

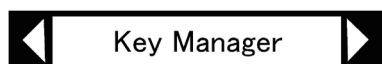
English を選んでください。

メニューボタンを 押してください。



自動リセットが行われます。

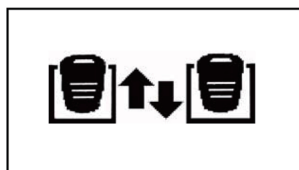
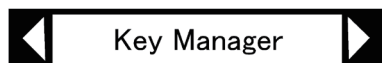
イエロー KIK キーの設定変更



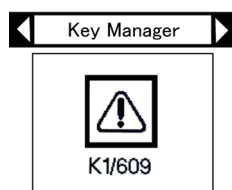
< Key Manager >
イエロー KIK キーで操作できる範囲を設定します。

メニューボタンを 回し Key Manager を選んでください。

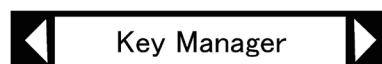
メニューボタンを 押してください。



グレーキー抜きイエローキーを挿入してください。



イエロー KIK キーを認識しない場合はエラーが表示されます。



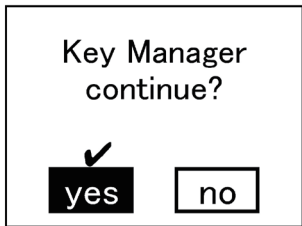
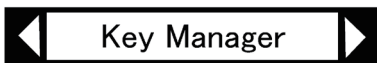
- Access
- Language
- Working Speed
- Brush Speed
- Suction
- Side Brush
- Brush Pressure
- Water Amount
- Detergent Dosing
- Flashing Beacon
- Horn
- Spray Suction
- Tank Rinsing
- Save?
- Quit Menu?

- イエローキーの認識
- 言語
- 作業スピード
- ブラシ回転数
- サクショントーピン負荷
- サイドブラシ (OP)
- ブラシ面圧
- 水量
- 洗浄剤添加量
- 回転灯 (OP)
- 前進アラーム
- Puzziアクセサリー (OP)
- 汚水タンク洗浄ユニット (OP)
- 記憶
- メニューから出る

作業者に操作をさせたい項目にチェックを入れてください。

メニューボタンを 回し項目を選んでください。

メニューボタンを 押し を入れてください。
再度押しと が消えます。



< Save? >
変更項目を記憶します。

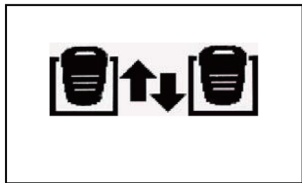
メニューボタンを 回し Save? を選んでください。

メニューボタンを ↓ 押してください。

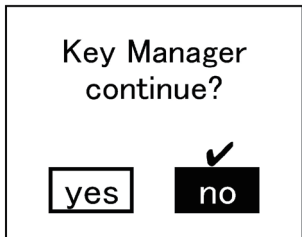
メニューボタンを 回し yes を選んでください。

メニューボタンを ↓ 押してください。

イエローキーを複数お持ちの場合
全ての KIK キーを変更する必要が有ります。



新しいイエローキーを挿入してください。
Save? 作業を繰り返してください。

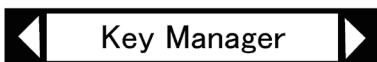


更項目を記憶しない場合

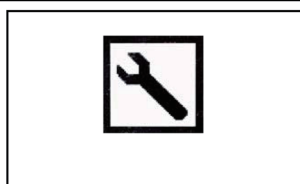
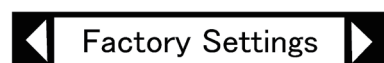
メニューボタンを 回し no を選んでください。

メニューボタンを ↓ 押してください。

電源が切れます。



初期設定の変更



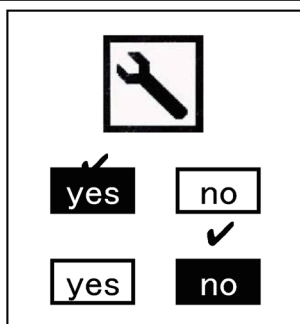
< Factory Settings >

初期設定されます。
個別変更設定が全て基に戻ります。
Factory Settings を行う前に設定を記録してください。

初期化手順

メニューボタンを  回し Factory Settings を選んでください。

メニューボタンを  ↓ 押してください。

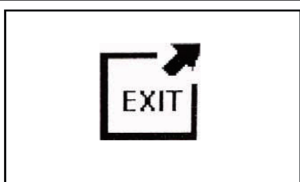


メニューボタンを  回し

Yes / No を選んでください。

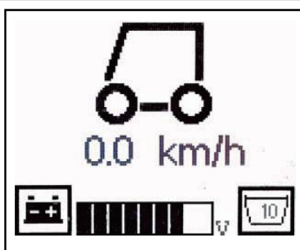
メニューボタンを  ↓ 押してください。

Yes 初期か実施
No キャンセル



Quit Menu? が表示されます。

メニューボタンを  ↓ 押してください。



初期画へ移動します。

23. 作業が終わったら

汚水タンクの排水

汚水タンクが満タンの場合、吸引モーターが自動的に停止し、“waste water tank full”が表示されます。
汚水の排水に際しては、自治体の規定に従って処理して下さい。
汚水ホースのキャップを開けたままの場合、汚水を吸引することができません。

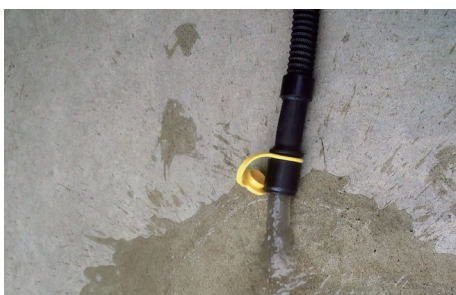


本体後部の排水ホースで汚水を排水してください。

<注意>
貯水量が多い場合一気に飛び出します。



排水場所に移動してください。
排水ホースのキャップを取外してください。
ホース先端を指で潰した状態でホースをゆっくり下方へ
降ろしながら排水を行ってください。



排水を排水してください。



汚水タンクカバーを開け、タンク内を清水ですすいで汚
れを洗い流してください。
排水ホースのキャップを閉めて元の状態に戻してください。
い。



汚水タンクの汚泥排水

汚水タンク内に固形物や大量の泥などが沈殿している場合は汚水タンク後部下部の排水口のキャップを開けて排出してください。

<注意>

先に汚水タンク内の液体を排水ホースから排水してから排水口を開けてください。



汚水タンクカバーを開け、タンク内を清水ですすいでください。

排水口のキャップを閉めて元の状態に戻してください。





粗ゴミフィルターの清掃

粗ゴミフィルターを引き抜いてください。



粗ゴミフィルターに溜まったゴミを取り除き、汚れが付着している場合は洗い流してください。

逆の手順で組み付けてください。



サクションフィルターの清掃

サクションフィルターのゴミを取り除き、汚れが付着している場合は取り外して汚れを洗い流してください。

逆の手順で組み付けてください。

清水の排水



ブラシヘッド前方の排水口のキャップを開けてください。
タンクの残水を排水することができます。

<注意>
貯水量が多い場合一気に飛び出します。



排水場所に移動してください。
排水はじめはキャップをゆっくり緩め、排水量を見ながらキャップを開けて排水してください。

清水タンクに清水が多く残っている状態でキャップを一気に開けるとタンク内の残水が勢いよく噴出します。



キャップ内部にフィルターが有ります。
定期的に取り外しゴミを取り除いてください。

フィルターがパッキンの役割をしています。
必ず装着してください。



キャップ内側にフィルターを取り付けます。



キャップを排水口にしっかり取り付けてください。

24. メンテナンス

機械の作業を始める前に、K I Kキーを外し、バッテリー充電プラグを外してください。
バッテリーのプラグを抜いてください。
汚水タンク、清水タンクからそれぞれ汚水、清水を排出してください。

吸引モーターはスイッチを停止してから10秒間作動します。
必ず吸引モーターが完全に停止してから作業を行ってください。

水平な路面でメンテナンス作業を行ってください。

●日常メンテナンス

タイヤの外傷（割れ・摩耗）を確認してください。

バッテリー外観に変形がないか確認してください。

バッテリー比重を確認してください。

必要に応じ充電してください。

全ての可動部位を確認してください。

フィルターに損傷が無いか確認してください。

サイドブラシ、メインブラシに磨耗やひも等の絡みつきがないか確認してください。

スクイジーゴム、汚水タンクの蓋のシールの損傷を目視確認してください。

摩耗、切れ等の無いことを確認してください。必要に応じ交換してください。

ブラシが摩耗しているか確認してください。

ボディが汚れている場合は、ぬれた布で本体を拭いてください。

機械本体に水をかけて洗浄したり、強い洗浄剤を使用しないでください。

汚水を排水してください。

吸引モーターのフィルターを清掃してください。

プレスイープのコンテナを清掃してください（ローラータイプの場合）。

●週間メンテナンス

ワイヤーケーブルと可動部品を確認してください。

シール部分に磨耗がないか確認してください。

表示ランプやスイッチなどが正常に作動しているか確認してください。

●月毎メンテナンス

バッテリーを点検し、端子に腐食が見られる場合はブラシでこすり取り除いてください。
バッテリーケーブルがしっかり固定されていることを確認してください。
バッテリーの比重を点検し、必要に応じバッテリー液を補充してください。
ブラシハウジングを清掃してください（ローラータイプの場合）。
洗浄液ストリップを洗浄ユニットから外し清掃してください（ローラータイプの場合）。

●100 作業時間毎

各種ベルトの貼り具合を確認してください。
メインブラシが摩耗していないか確認してください。
サイドブラシが摩耗していないか確認してください。

●毎年のメンテナンス

安心して清掃作業を行う為に、ケルヒャーの定期点検をお申込み下さい。
メンテナンス作業一例

吸引フィルターの清掃
スクイージーの交換、調節
ブラシの交換（ローラー、ディスク）
サイドスカート交換

凍結の防止

清水および汚水タンクから完全に排水して下さい。
凍結しない室内に保管して下さい。

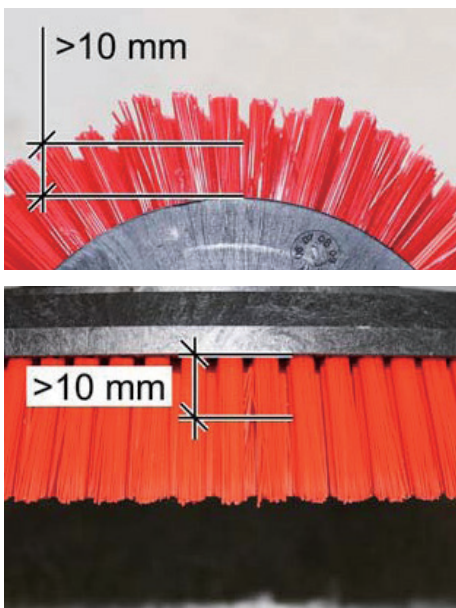
機械の保管

機械を保管する場合、機械の重量に十分注意して下さい。
この機械は必ず屋内に保管して下さい。
機械の重量で影響が無い場所に保管して下さい。

- KIK キーを抜いてください。
- ホイールに輪止めをして機械を停止し保管してください。
- 必要に応じ充電してください。

<充電>

- バッテリー残量表示が1～3になったら充電してください。
- バッテリー残量表示がなくなると、走行だけ可能な状態となります。
- この時、メインスイッチを切った後充電しないで機械を使用するとバッテリーが損傷します。充電表示が消えた後の再使用は避けてください。
- 充電が終了すると“charging completed”の表示が出ます（充電器内蔵時）。



ブラシの摩耗状態確認

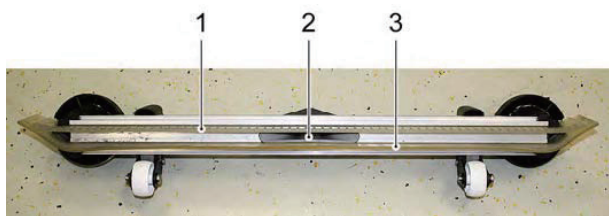
ブラシにゴミが絡まっている場合は取り除いてください。
 汚れがひどく付着している場合は洗い流してください。

ローラーブラシ、ディスクブラシ共に、ブラシの毛の長さが 10mm 以下になったら新しいブラシに交換してください。



サイドスカートゴムの摩耗状態確認

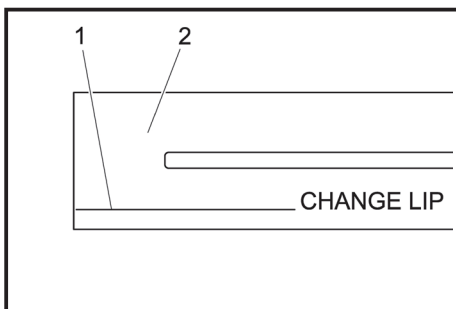
高さを調整しても吸い残しが出る場合や、ゴムが破損している場合は新しいゴムに交換してください。



スクイジの摩耗状態確認

吸引口にゴミが詰まっている場合は取り除いてください。
 スクイジーゴムに汚れが付着している場合は取り除いてください。

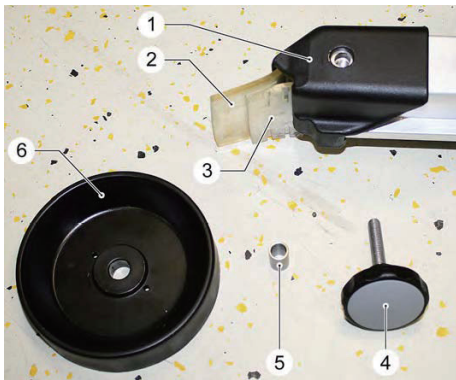
- 1 スクイジーゴム（前）
- 2 吸引口
- 3 スクイジーゴム（後）



スクイジーゴムは上下を入れ替えて使用可能ですが、スクイジーゴム（後）の上下ともに「CHANGE LIP」の線まで摩耗した場合は新しいスクイジーゴムに交換してください。

- 1 交換目安の線（「CHANGE LIP」）
- 2 スクイジーゴム（後）

スクイジーゴムが破損した場合も新しいスクイジーゴムに交換してください。



スクイジーゴムの上下入れ替え・交換方法

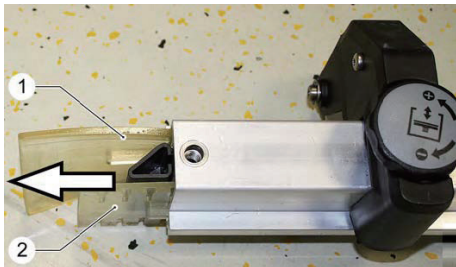
固定スクリューを取外してください。

- 1 カバー
- 2 スクイジー（後）
- 3 スクイジー（前）
- 4 固定スクリュー
- 5 スリーブ
- 6 ガイドローラー



両サイドのカバーを引き抜いてください。

- 1 カバー



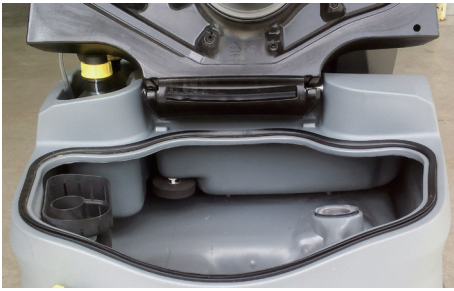
前後のスクイジーゴムを引き抜き、上下を入れ替えるまたは新しいスクイジーゴムを挿入してください。



両端のスクイジーの突出し量を同じにしてください。

カバーを取り付けスリーブを挿入してください。

ガイドローラーを載せ固定スクリューで固定してください。



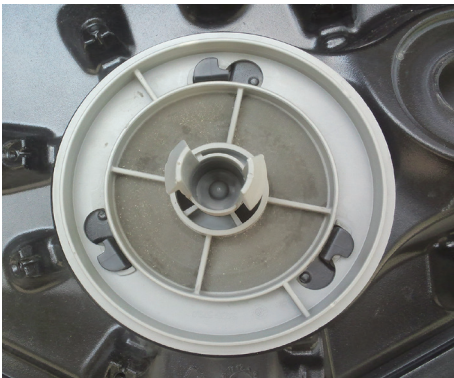
汚水タンクのメンテナンス

汚水タンク内部にはフロート・フロートスイッチ・粗ゴミフィルター・サクションフィルターが組み込まれています。



【フロート】

フロートは汚水タンクカバー裏面に取付けられています。
油分が多い床洗浄を行う場合は定期的に交換してください。



【フロートステーのフィルター】

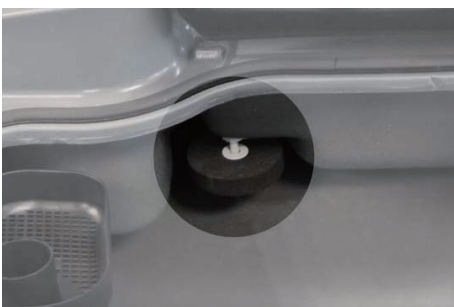
フロート中央部分にある2本の突起をつまんでフロートを引き抜いてください。
フロートステーを反時計方向に回してください。



フロートステーを引き抜いてください。
フロートステーのフィルターのゴミを取り除き、洗ってください。
逆の手順で組み付けてください。

<注意>

フィルターが目詰まりしていると吸引が著しく低下します。定期的なメンテナンスを行ってください。



【フロートスイッチ】

汚れを取り除いてください。
ズレが無いか確認してください。

<注意>

フロートには上下が有り取付を誤ると誤動作します。

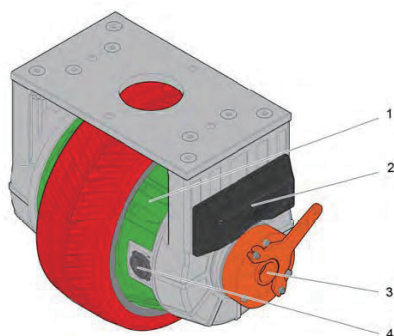
<機械の移動>

機械を輸送する場合は10%以下の勾配で実施してください。

走行は徐行で行ってください。

機械の重量、重心を考慮して作業を行ってください。

機械を自動車で移動する場合、機械をしっかり固定し自動車の取扱い説明に従ってください。
ディスクタイプの洗浄ユニットの場合、ブラシを外してください。



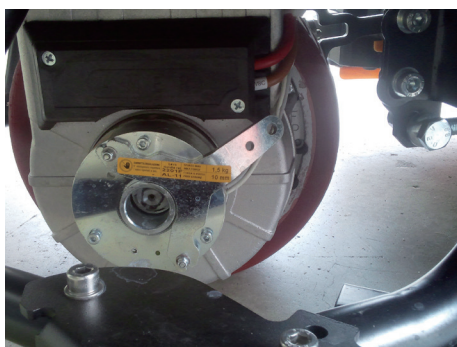
ブレーキの強制解除

走行モーターのプレートを外側に引くとブレーキを強制解除することができます。

勾配のある場所では解除しないでください。

バッテリーを接続せずに移動する場合

プレートとブレーキの間に板、木片を差し込みプレートを浮かせると人力で押し、移動することができます。



注意

ブレーキを解除した状態で坂道を移動しないこと
慣性速度によりコントロールできなくなり事故の原因となります。
ブレーキ解除で移動する場合は必ず補助要員を配置し安全を確保してください。

人力で移動する場合

4.5Km/h以上のスピードで移動しないこと
制御基盤へ逆電流が流れ損傷します。

25. トラブル対応

機械の作業を始める前に、K I Kキーを外し、バッテリー充電プラグを外して下さい。

バッテリーのプラグを抜いて下さい。

汚水タンク、清水タンクからそれぞれ汚水、清水を排出して下さい。

吸引モーターはスイッチを停止してから10秒間作動します。必ず吸引モーターが完全に停止してから作業を行って下さい。

エラーの文字表示

ディスプレイのエラー表示を確認し、対応する対策を行ってください。

メニューボタンを押し、エラー内容を確認して下さい。

エラーの数字表示

プログラムスイッチをOFFの位置にします。

ディスプレイの表示が消えるまで待ちます。

プログラムスイッチを以前の位置に動かします。

もしエラーが解消しない場合

このエラーは作業員では修理できないことを示しています。

ケルヒャーサービスフロントに御連絡をお願いします。

<注意>

制御基盤のトラブルが発生した場合は直ちにサービスフロントへ修理を依頼してください。

お客様ご自身で万一触られた場合、

制御基盤のショート・静電気による帯電が生じ修復が難しくなります。

本体のディスプレイに表示されるエラーメッセージと対策

ディスプレイ表示	原因	対策
Seat switch open!	シートスイッチがOFF	⇒ アクセルペダルを踏んでいる場合はアクセルペダルを戻してください。 ⇒ シートにしっかり座ってください。
Release accelerator!	アクセルペダルが踏まれた状態でメインスイッチが入った	⇒ アクセルペダルを一旦戻してから再度踏んでください。
No direction of travel!	走行切替スイッチ不良または接続ケーブル不良	⇒ 走行切替スイッチを確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Battery discharged!	バッテリー電圧低下	⇒ バッテリーを充電してください。
Battery voltage inadmissible!	バッテリー電圧異常	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Charger defective!	充電器の不具合	⇒ 充電器に異常が無いか確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Fresh water tank empty!	清水タンクに水が入っていない	⇒ 清水タンクに清水を補充してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Waste water tank full!	汚水タンクが満水	⇒ 汚水タンク内の汚水を排水してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
	レベルセンサーの不良	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brush pressure not reached!	一定時間内にブラシ面圧が制御できなかった	⇒ ブラシが摩耗している場合は交換してください。 ⇒ ブラシヘッドが昇降するか確認してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brake defective!	ブレーキの不具合	⇒ 直ちに使用を中止してください。 ⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Propulsion motor hot! Allow to cool down!	モーター保護機能の作動	⇒ メインスイッチを切ってください。 ⇒ 少なくとも5分経たないうちに本体の電源を入れしないでください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Horn defective!	ホーンの不具合	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Control is hot! Allow to cool down!	電気系統のオーバーヒート	⇒ メインスイッチを切ってください。 ⇒ 少なくとも5分経たないうちに本体の電源を入れしないでください。 ⇒ ブラシ面圧値を低く設定してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。
Brush motors overloaded!	ブラシ荷重が偏っている	⇒ ブラシの接地状態が前後左右で偏りが無いか確認、調整してください。 ⇒ 改善されない場合はケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

本体のディスプレイに表示されないトラブルと対策

問題	想定される原因	対策
本体が動かない	シートスイッチがOFF	⇒ シートにしっかり座ってください。
	メインスイッチが入っていない	⇒ メインスイッチを入れてください。
	制御装置の誤認識	⇒ プログラムスイッチのダイヤルを“OFF”に合わせて10秒待ってから、元のモードにダイヤルを戻してください。可能であれば本体を平坦な床面で走行させてください。ブレーキを確認してください。
	バッテリーが充電されていない	⇒ バッテリーを充電してください。
	バッテリーの寿命	⇒ バッテリーを交換してください。
	メインスイッチを入れた時にアクセルペダルが踏まれていた	⇒ アクセルペダルが完全に戻っている状態でメインスイッチを入れてください。
洗浄水が十分に出ない	清水の量が不足している	⇒ 清水タンクに清水を給水してください。
	ホースに異物が詰まっている	⇒ 異物を取り除いてください。
	(ローラータイプの場合のみ)ヘッドの洗浄水吐出口が詰まっている	⇒ 洗浄水吐出口を取り外し、清掃して詰まりを取り除いてください。
	清水フィルターが詰まっている	⇒ 清水フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
汚水が十分に吸引されない	汚水タンクカバーがしっかり閉まっていない	⇒ 汚水タンクカバーがしっかり閉まっているか確認してください。 ⇒ 汚水タンクカバー内側のシールが変形、破損している場合は交換してください。
	が詰まっている	⇒ フィルターを清掃して詰まりを取り除いてください。
	スクイジーゴムが摩耗している	⇒ スクイジーゴムを上下入れ替えるか、新しいスクイジーゴムに交換してください。
	汚水排水ホースのキャップが閉まっていない	⇒ 汚水排水ホースのキャップをしっかりと閉めてください。
	吸引ホースに異物が詰まっている	⇒ 異物を取り除いてください。
	吸引ホースが緩んでいる	⇒ スクイジーの吸引口にしっかり差し込んでください。
	スクイジーの調整が不十分	⇒ スクイジーの角度や高さを調整してください。
洗浄結果が良くない	面圧が適切でない	⇒ 面圧を調整してください。
	スクイジーの調整が不十分	⇒ スクイジーの角度や高さを調整してください。
	ブラシまたはパッドが摩耗している	⇒ 摩耗している場合は交換してください。
ブラシまたはパッドが回転しない	面圧が高い	⇒ 面圧を低く調整してください。
	異物が絡まったり挟まったりしている	⇒ 異物を取り除いてください。
	ブラシモーターのオーバーヒート	⇒ モーターが過熱している場合は冷めるまで時間を置いてください。プログラムスイッチのダイヤルを“OFF”に合わせて10秒待ってから、元のモードにダイヤルを戻してください。
汚水排水ホースから汚水が十分に排水されない	汚水排水ホースに異物が詰まっている	⇒ 汚水排水ホースのキャップを開けてください。吸引ホースをスクイジーから取り外してください。プログラムスイッチのダイヤルを吸引モードに合わせ、吸引ホースの吸引口をふさいでください。汚水排水ホースに詰まっていた異物が汚水タンクに入ります。
DOSEシステムが作動しない	DOSEシステムの不具合	⇒ ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

26. お問い合わせ先

<サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

27. ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



＜ユーザー登録いただいたお客様限定＞

ご購入日から1年間の保証期間を
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

URL : https://www.kaercher.com/jp/services/support_pro/registry.html

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。

＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント

TEL : 0570-78-3140

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては

<https://www.kaercher.com/jp/corporate/profile/privacy.html> でご覧いただけます。

28. 修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、
申し込みフォームからご依頼ください。

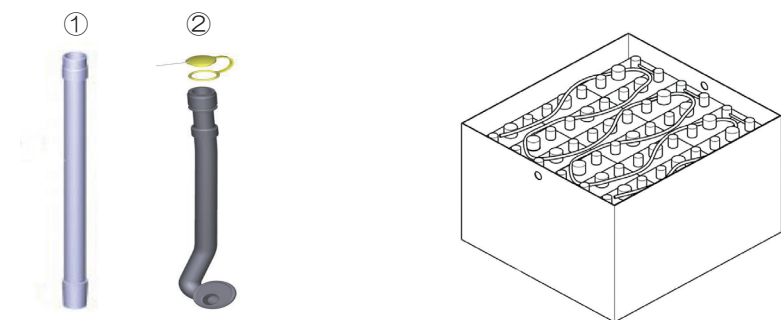
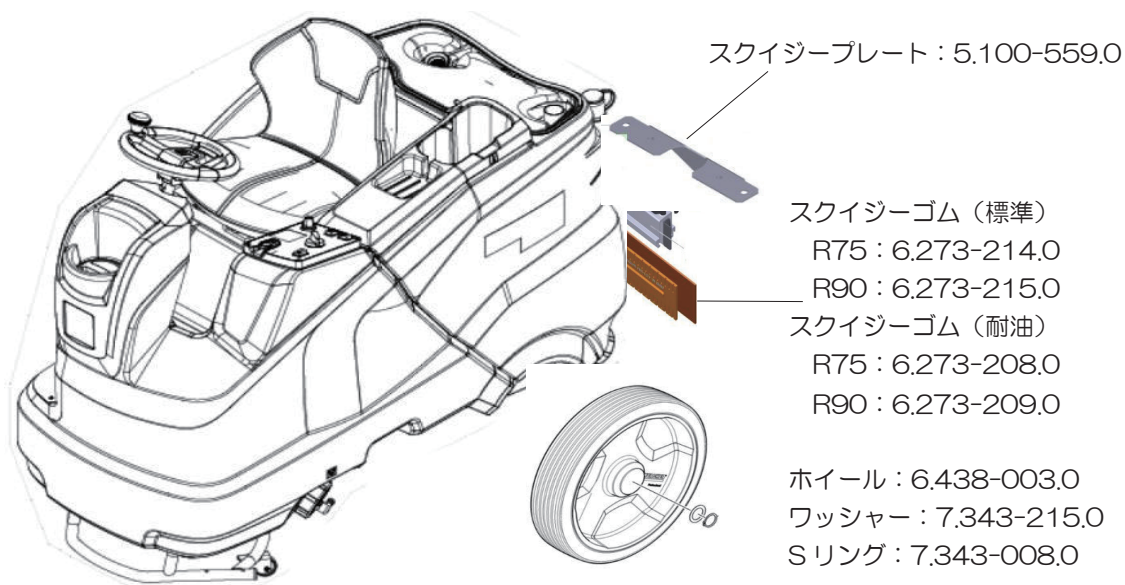
https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

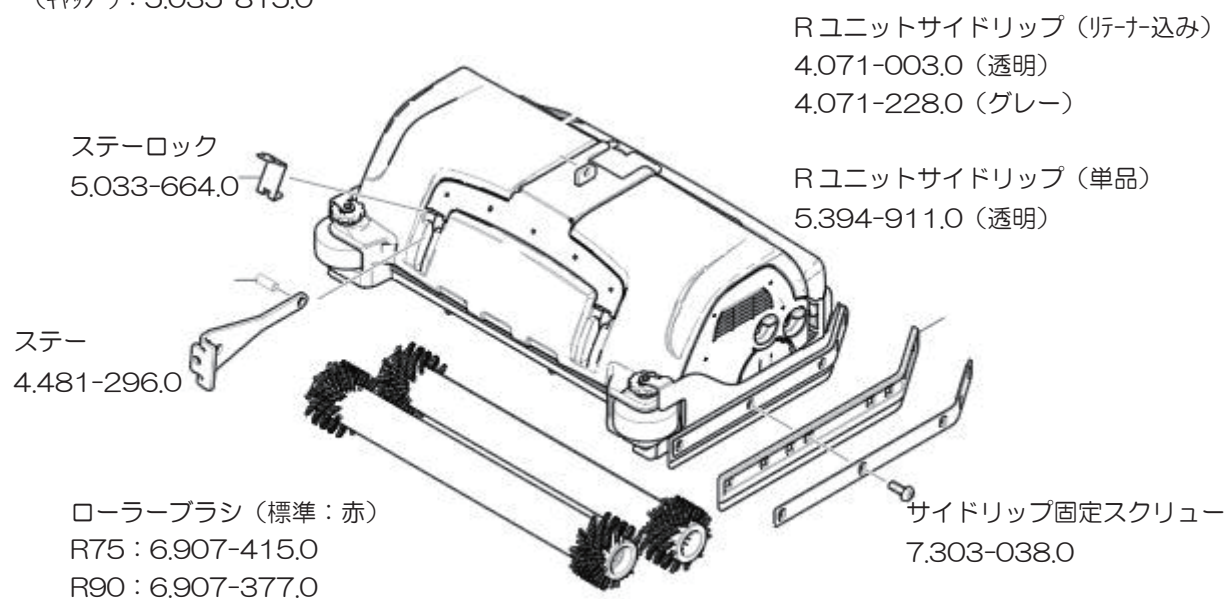
お電話での修理のお問い合わせは
サービスフロント（修理受付）
受付時間 9：00～17：00
月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：0570-78-3140

29. 補修部品 (R ブラシユニット)

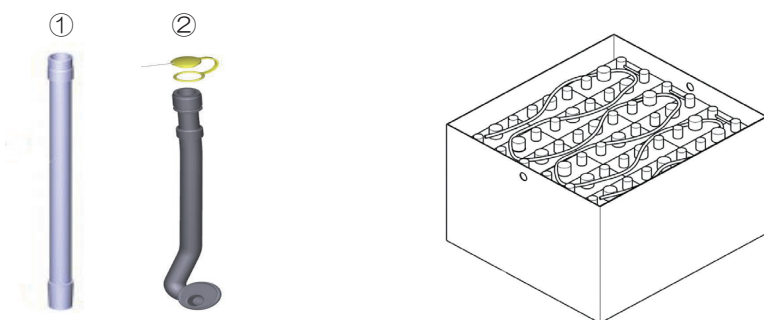
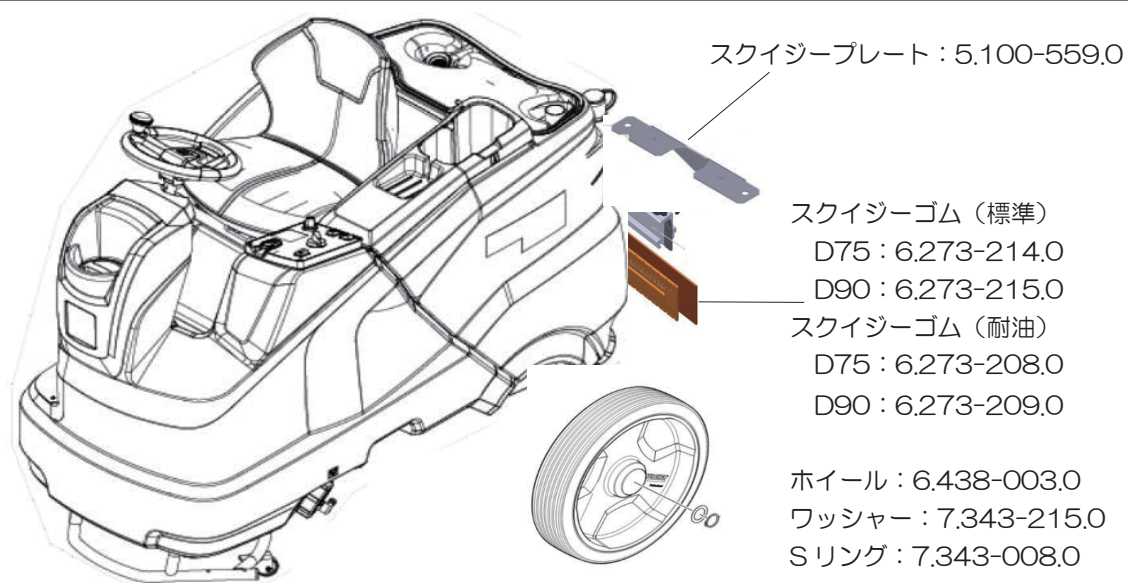


- ① サクションホース
標準：4.035-030.0
耐油：4.035-138.0
- ② ドレインホース
標準：4.036-129.0
(キャップ)：5.035-815.0

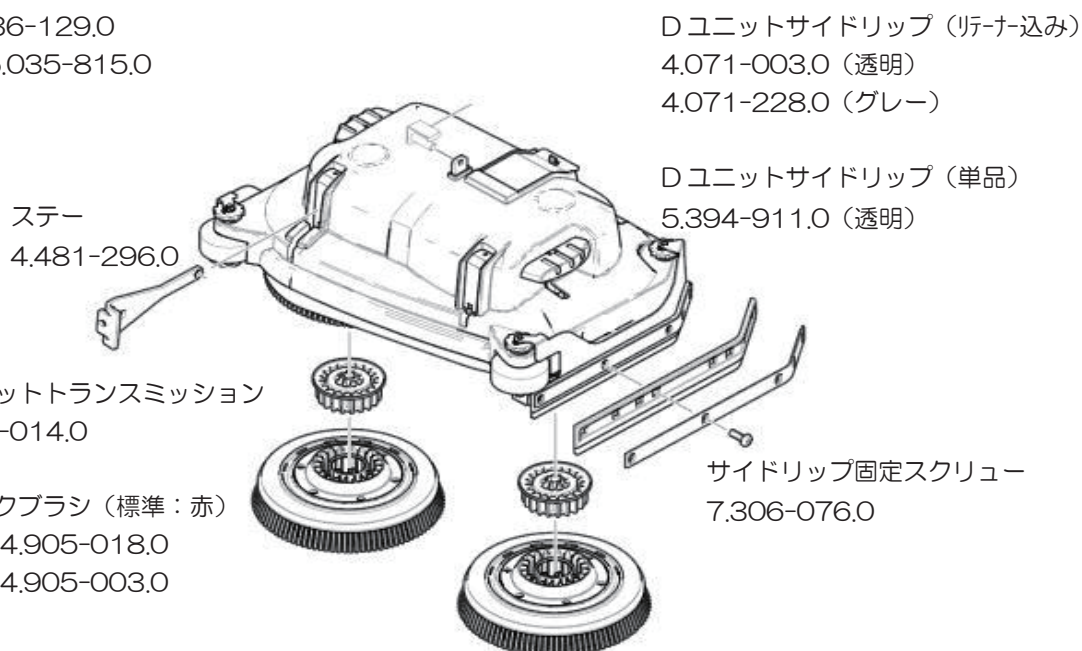


※仕様変更により商品の形状が図と一致しない場合があります。
※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

29. 補修部品 (D ブラシユニット)



- ①サククションホース
標準 : 4.035-030.0
耐油 : 4.035-138.0
- ②ドレインホース
標準 : 4.036-129.0
(キャップ) : 5.035-815.0



※仕様変更により商品の形状が図と一致しない場合があります。
※注文番号は予告なく変更になる場合があります。